

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成28年度）

事業名		謙慎の書③ 青山杉雨の門流— 樽本樹邨と轟友会選抜展		担当課 施設名	(奈良市杉岡華邨書道美術館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2)-①②、(3)-①②③④、(4)-①④
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・継続	事業開始年	平成28年度	実施回数	1回
日時	平成28年4月23日（土）～7月18日（祝・月）		会場	奈良市杉岡華邨書道美術館	
目的	奈良市杉岡華邨書道美術館条例にある当館の主たる事業（条例3条第1号及び第2号）として展覧会事業を行う。奈良市民及び観光客、書芸術愛好家に杉岡華邨作品を中心とした近現代の書を鑑賞して頂くことにより、市民文化並びに書文化振興に寄与することを目的とする。				
内容	現代の漢字系会派を紹介するシリーズ展で、関東を中心に活躍する謙慎書道会の第3回展。日本藝術院賞受賞作家の樽本樹邨氏と、氏が顧問を務める轟友会の選抜作家19名の作品を紹介。				
事業費（円）					
			歳入		歳出
予算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	859,000	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	0	859,000
決算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	365,000	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	0	365,000
事業成果					
アンケート等実施の有無 （アンケート等はできるだけ実施してください。 実施の場合、回収件数・回収率等を記入）			無し		
			配布数：	回収数：	回収率：
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	4	参加者数1,804人、達成度は72.2% 目標値：2,500人 実績値：1,804人		
	顧客満足度	6	日本芸術院賞受賞者の樽本樹邨先生をはじめ、現代書壇を代表する現役の多数の漢字作家、しかも関東・中京を中心に活動している轟友会の作家の方々の作品を一堂に見られるということで観覧者の評価は高かった。		
	市民参画・協働の成果はあったか	8	出品作家20名をはじめとする轟友会会員の方々に展覧会開催のため運営、広報等ご協力頂いた。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	8	奈良市杉岡華邨書道美術館学芸員が担当するとともに、日展会員以上の現役作家の先生方に監修頂いた。		
	ターゲットは適切に絞れたか	6	書道愛好家だけでなく書道にあまり関心のない方にもご観覧いただけた。		
総合評価（自動計算）		6			
参加者や協働相手からの意見		<p>（参加者） 関西では普段あまり見られない作家・会派の作品を一堂に鑑賞できる貴重な機会だった。</p> <p>（協働者） 現代書道界を代表する杉岡華邨の名前を冠した美術館で展覧会を開催できることは、書壇においても名譽なことであり、現代書壇を紹介する質の高い展覧会を続けて欲しい。</p>			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	
	本展は関東を中心に活動する謙慎書道会を紹介する第3回展、書の分野では3人目の文化勲章受章者の青山杉雨の門流から、日本藝術院賞受賞者の樽本樹邨氏と轟友会の作家を紹介した。関東、中京を中心に活躍する作家の方々が出品する展覧会であったため、組織的な動員等を得ることが難しく観覧者数は目標を下回ったが、展覧会や普及事業の書道文化講座には全国から多くの来館者があり、観覧料収入以上に地元への経済効果があったと推察される。			かな書を中心とした現代書道作品による企画展は、より質の高い作品の鑑賞機会を提供するとともに、関係団体の動員力や一般観覧者がいかに興味を持てるかなど総合的に判断する必要がある。また、少子高齢化により書道界でも年々書道人口はますます減少しており、長期的には減少傾向が続くと考えられ、美術館単独の取り組みでは限界がある。書道文化全体の発展のためには教育委員会や他の文化芸術団体などと連携しつつ、書道文化のすそ野を広げる活動も重要な課題である。	

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成28年度）

事業名		「中国書法から影響を受けた日本の漢字書家— 碑学派、帖学派とその周辺—」展		担当課 施設名	（ 奈良市杉岡華邨書道美術館 ）	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2)-①②、(3)-①②③④、(4)-①④	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続	事業開始年	平成28年	実施回数	1	
日時	平成28年9月3日(土)～平成29年1月15日(日)		会場	奈良市杉岡華邨書道美術館		
目的	奈良市杉岡華邨書道美術館条例にある当館の主たる事業（条例3条第1号及び第2号）として展覧会事業を行う。奈良市民及び観光客、書芸術愛好家に杉岡華邨作品を中心とした近現代の書を鑑賞して頂くことにより、市民文化並びに書文化振興に寄与することを目的とする。					
内容	「東アジア文化都市2016奈良」に協賛し、書の源流である中国書法に多大な影響を受けている日本の書を再認識することを目的に、現代書壇を代表する25名の物故漢字作家の作品を一堂に集め2期にわたって紹介。					
事業費（円）						
			歳入	歳出		
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	1,523,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	1,523,000	
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	1,355,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	1,355,000	
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等はできるだけ実施してください。 実施の場合、回収件数・回収率等を記入)			無し			
			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	8	参加者数5,619人、達成度は112.3% 目標値：5,000人 実績値：5,619人			
	顧客満足度	6	昭和から平成にかけての現代書壇を代表する名だたる漢字作家、しかも文化勲章受章者、文化功労者、日本芸術院賞受賞者と言った作家の作品を一堂に見られるということで観覧者の評価は高かった。			
	市民参画・協働の成果はあったか	8	出品作家25名の作品所蔵者やご遺族、著作権者をはじめとする出品作家関係者に展覧会開催のためご協力頂いた。			
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	8	奈良市杉岡華邨書道美術館学芸員が担当するとともに、研究者や日展会員以上の現役作家の先生方にご助言頂いた。			
	ターゲットは適切に絞れたか	6	書道愛好家だけでなく書道にあまり関心のない方にもご観覧いただけた。			
総合評価（自動計算）		7				
参加者や協働相手からの意見		<p>(参加者) 普段見ることのできない著名な作家やその作品が一堂に鑑賞できよかった。</p> <p>(協働者) あまり鑑賞の機会がない作品も展示され、なかなか扱われることのない碑学、帖学と言ったテーマの設定も非常に興味深い展覧会だった。</p>				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	本展は「東アジア文化都市2016奈良市」に協賛し、中国書法との文化的な影響という視点から現代書壇を代表する物故漢字作家の書を2期にわたって紹介する展覧会で、碑学派、帖学派の現代的な位置づけを問う書道関係者の評価が非常に高い展覧会となった。また、中国書法と言う視点を通して「東アジア文化都市2016奈良市」の趣旨に合った展覧会となった。			かな書を中心とした現代書道作品による企画展は、より質の高い作品の鑑賞機会を提供するとともに、関係団体の動員力や一般観覧者がいかに興味を持てるかなど総合的に判断する必要がある。また、少子高齢化により書道界でも年々書道人口はますます減少しており、長期的には減少傾向が続くと考えられ、美術館単独の取り組みでは限界がある。書道文化全体の発展のためには教育委員会や他の文化芸術団体などと連携しつつ、書道文化のすそ野を広げる活動も重要な課題である。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成28年度）

事業名		「華邨が書く茂吉の歌」展		担当課 施設名	(奈良市杉岡華邨書道美術館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2)-①②、(3)-①②③④、(4)-①④
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・継続	事業開始年	平成28年	実施回数	1
日時	平成28年7月23日（土）～8月28日（日）		会場	奈良市杉岡華邨書道美術館	
目的	奈良市杉岡華邨書道美術館条例にある当館の主たる事業（条例3条第1号及び第2号）として展覧会事業を行う。奈良市民及び観光客、書芸術愛好家に杉岡華邨作品を中心とした近現代の書を鑑賞して頂くことにより、市民文化並びに書文化振興に寄与することを目的とする。				
内容	奈良市杉岡華邨書道美術館収蔵の華邨作品から、斎藤茂吉の詩歌を書いた作品を集めて紹介。				
事業費（円）					
			歳入		歳出
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	504,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	504,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	464,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	464,000
事業成果					
アンケート等実施の有無 (アンケート等はできるだけ実施してください。 実施の場合、回収件数・回収率等を記入)			無し		
			配布数：	回収数：	回収率：
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	4	参加者数675人 達成率67.5% 目標値：1,000人 実績値：675人		
	顧客満足度	6	日本独自の芸術である「かな書」の分野で初の文化勲章受章者となった杉岡華邨の作品を常に鑑賞できるということ为好評を得た。		
	市民参画・協働の成果はあったか	6	書道関連団体や業者の方々には展覧会開催のため運営、広報等ご協力頂いた。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	6	奈良市杉岡華邨書道美術館学芸員が担当するとともに、研究者の先生に監修頂いた。		
	ターゲットは適切に絞れたか	6	書道愛好家だけでなく書道にあまり関心のない方にもご観覧頂いた。		
総合評価（自動計算）		6			
参加者や協働相手からの意見		(参加者) 斎藤茂吉がふるさと山形を思っ読んだ歌を書いた杉岡華邨の書から、華邨の故郷を思う気持ちが伝わってくる気がした。 (協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	
	秋季企画展の会期延長に伴い1か月少しと短い会期の展覧会となったが、一般の方でも関心を持ってテーマ設定だったので書道愛好家でない人でも比較的観覧しやすい展覧会となった。			夏季・冬季と言った観覧者の少ないシーズンに開催する収蔵作品による杉岡華邨作品展は一般の方でも関心を持ってテーマ設定が必要と考えられる。少子高齢化により書道界でも年々書道人口はますます減少しており、長期的には減少傾向が続くと考えられ、美術館単独の取り組みでは限界がある。書道文化全体の発展のためには教育委員会や他の文化芸術団体などと連携しつつ、書道文化のすそ野を広げる活動も重要な課題である。	

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成28年度）

事業名		「冬から春へー華邨が書くよるこびの歌ー」展		担当課 施設名	(奈良市杉岡華邨書道美術館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2)-①②、(3)-①②③④、(4)-①④
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・継続	事業開始年	平成28年	実施回数	1
日時	平成29年1月21日（土）～4月16日（日）		会場	奈良市杉岡華邨書道美術館	
目的	奈良市杉岡華邨書道美術館条例にある当館の主たる事業（条例3条第1号及び第2号）として展覧会事業を行う。奈良市民及び観光客、書芸術愛好家に杉岡華邨作品を中心とした近現代の書を鑑賞して頂くことにより、市民文化並びに書文化振興に寄与することを目的とする。				
内容	奈良市杉岡華邨書道美術館収蔵作品から、新春や冬から春への季節の歌を書いた作品を紹介。				
事業費（円）					
			歳入		歳出
予算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	607,000	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	0	607,000
決算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	596,000	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	0	596,000
事業成果					
アンケート等実施の有無 (アンケート等はできるだけ実施してください。 実施の場合、回収件数・回収率等を記入)			配布数：	回収数：	回収率：
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	4	参加者数889人 達成率59.3% 目標値：1,500人 実績値：889人		
	顧客満足度	6	日本独自の芸術である「かな書」の分野で初の文化勲章受章者となった杉岡華邨の作品を常に鑑賞できるということ为好評を得た。		
	市民参画・協働の成果はあったか	6	書道関連団体や業者の方々には展覧会開催のため運営、広報等ご協力頂いた。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	6	奈良市杉岡華邨書道美術館学芸員が担当するとともに、研究者の先生に監修頂いた。		
	ターゲットは適切に絞れたか	6	書道愛好家だけでなく書道にあまり関心のない方にもご観覧頂いた。		
総合評価（自動計算）		6			
参加者や協働相手からの意見		(参加者) 季節にあった歌を題材とした様々な杉岡華邨作品が見られた。 (協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	
	専門性の高いテーマをではなく、誰でも関心を持ってそうな季節を題材とした杉岡華邨作品による展覧会であったが、漠然としたイメージとなったためか一般の観覧者への訴求力に欠ける結果となった。			夏季・冬季と言った観覧者の少ないシーズンに開催する収蔵作品による杉岡華邨作品展は一般の方でも関心を持てるテーマ設定が必要と考えられる。少子高齢化により書道界でも年々書道人口はますます減少しており、長期的には減少傾向が続くと考えられ、美術館単独の取り組みでは限界がある。書道文化全体の発展のためには教育委員会や他の文化芸術団体などと連携しつつ、書道文化のすそ野を広げる活動も重要な課題である。	

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成28年度）

事業名		書道文化講座		担当課 施設名	(奈良市杉岡華邨書道美術館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)-②③、(4)-①④
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成12年	実施回数	4
日時	4月23日、7月10日、9月24日、12月3日 各回13または14時から		会場	奈良市杉岡華邨書道美術館	
目的	企画展覧会出展者等の作品や制作論の講演、さらには書のみならず広く芸術文化に関わる講演を開催することで、書道愛好家の方に書道文化をより深く理解して頂くと共に、市民に生涯学習の一環として自己を磨く機会を持っていただき書道文化及び市民文化振興に貢献することを目的とする。				
内容	講師を招き、企画展覧会に関連する内容や広く書文化やその他芸術文化についてお話いただく書道文化講座を年数回開催する。				
事業費（円）					
			歳入		歳出
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	436,000	436,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	375,000	375,000
事業成果					
アンケート等実施の有無 (アンケート等はできるだけ実施してください。 実施の場合、回収件数・回収率等を記入)			無し		
			配布数：	回収数：	回収率：
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	8	参加者総数653名、参加率達成度204%。 目標値：320 実績値：653		
	顧客満足度	8	企画展に連動した書道文化講座は予定人数を大幅に上回る参加者が受講し、満足度の高い講座を提供できていると考えられる。		
	市民参画・協働の成果はあったか	6	出品作家や書道研究者、書道関係書道団体による協力参画協働が行われている。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	8	講師はその分野の専門家の方に依頼している。		
	ターゲットは適切に絞れたか	6	参加者は書に関心の高い方々に絞られている。		
総合評価（自動計算）		7			
参加者や協働相手からの意見		(参加者) 企画展覧会に実際に出演している作家の方による作品制作理論や書の見方など直接聞けるので大変参考になる。 (協働者) 作品を展示するだけでなく、実作者の考えを直接伝えることができ、書芸術を多くの人に理解してもらう有意義な機会である。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	
	書道文化講座は開催している企画展覧会の内容などに合わせて講座のテーマを設定し開催している。春季は出品団体の協力により非常に多くの受講者に参加頂けたが、その他の講座では受講者の確保が非常に困難になりつつある。書道人口が漸減と書道愛好家の方々の高齢化なども大きく影響していると考えられる。			奈良市杉岡華邨書道美術館に協力頂いてきた方々の満足度を維持しつつ、新たに書芸術やかな書に関心を持って下さる方々を増やすために長期的な方策を検討する必要がある。	

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成28年度）

事業名		文化講演会・文化講座等を実施します (書道文化講座・列品解説講座)		担当課 施設名	(奈良市杉岡華邨書道美術館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)-②③、(4)-①④
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成12年	実施回数	2
日時	8月20日、3月11日 各回14時から		会場	奈良市杉岡華邨書道美術館	
目的	杉岡華邨の作品の特徴や制作論を実際の作品を例にしつつ解説する講座等を開催することで、書道愛好家の方に書道文化をより深く理解して頂くと共に、市民に生涯学習の一環として自己を磨く機会を持っていただき書道文化及び市民文化振興に貢献することを目的とする。				
内容	講師を招き、杉岡華邨作品についてお話しいただく列品解説講座を年数回開催する。				
事業費（円）					
			歳入		歳出
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	40,000	40,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	6,000	6,000
事業成果					
アンケート等実施の有無 (アンケート等はできるだけ実施してください。 実施の場合、回収件数・回収率等を記入)			無し		
			配布数：	回収数：	回収率：
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	8	参加者総数121名、参加率達成度121%。 目標値：100 実績値：121		
	顧客満足度	6	予定人数を上回る参加者が受講し、満足度の高い講座を提供していると考えられる。		
	市民参画・協働の成果はあったか	8	書道関係団体の開催協力及び講師も無償ボランティアによりお引き受け頂くなど、参画協働が行われている。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	6	講師はその分野の専門家の方に依頼している。		
	ターゲットは適切に絞られたか	6	参加者は書に関心の高い方々に絞られている。		
総合評価（自動計算）		7			
参加者や協働相手からの意見		(参加者) 杉岡華邨に直接指導を受けた先生による解説で、華邨作品の造形理論がよく分かった。 (協働者) 杉岡華邨の芸術を広く伝える良い機会となった。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	
	列品解説講座は館藏品展開催に合わせ杉岡華邨作品の解説を行っている。内容的に講師をお願いできる先生に限られるため、特定の方に負担がかかっている。			奈良市杉岡華邨書道美術館に協力頂いてきた方々の満足度を維持しつつ、新たに書芸術やかな書に関心を持って下さる方々を増やすために長期的な方策を検討する必要がある。	

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成28年度）

事業名		書道実技講座		担当課 施設名	(奈良市杉岡華邨書道美術館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発	継続	事業開始年	平成25年	実施回数
日時	11月26日 13時～・15時～		会場	奈良市杉岡華邨書道美術館	
目的	書の初心者でも簡単に参加できる形式で、年賀状など生活で活かせる書の実技を体験できる講座を通して、市民に生涯学習の一環として自己を磨く機会を持っていただき書道文化及び市民文化振興に貢献することを目的とする。				
内容	講師を招き、初心者でも参加できる年賀状の書き方についての実技指導の講座。基本的な年賀状の書き方についての説明のあと実際に受講者が書いたものを個別に指導していただく。				
事業費（円）					
	歳入			歳出	
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	20,000	20,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	12,000	12,000
事業成果					
アンケート等実施の有無 (アンケート等はできるだけ実施してください。 実施の場合、回収件数・回収率等を記入)			無し		
			配布数:	回収数:	回収率:
指標		評価 (5点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	6	参加者数17名、参加率達成度85% 目標値: 20 実績値: 17		
	顧客満足度	8	毎年参加しておられる方もあり、満足度は高いと考えている。		
	市民参画・協働の成果はあったか	6	外部の講師のご協力により開催している。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	8	講師は毎年書の専門の先生に依頼している。		
	ターゲットは適切に絞れたか	6	概ね市内在住の書に興味関心の有る方に絞られている。		
総合評価（自動計算）		7			
参加者や協働相手からの意見		(参加者) 一人ひとり指導してもらえるので初心者でも安心して参加できた。			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	
	施設の会場が非常に狭く、また丁寧な指導を行うために受講者数は各回10名の2回で計20名とかなり少数となっている。募集ではほぼ予定定員となっていたが、直前の欠席等で参加率が低下した。			講座回数を増やす、年賀状以外の実技やもっと基礎の講座を希望する意見もあるが、施設の状況や講師の方の負担等も考えると現状を維持しつつ、満足度の高い講座となるよう内容の充実を検討していきたい。	

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成28年度）

事業名		調査研究・作品保存		担当課 施設名	(奈良市杉岡華邨書道美術館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発	継続	事業開始年	平成12年	実施回数
日時	通年		会場	奈良市杉岡華邨書道美術館	
目的	奈良市杉岡華邨書道美術館条例にある当館の主たる事業（条例3条第2号及び第3号）として調査研究事業を行う。奈良市杉岡華邨書道美術館の目的である書道文化の振興と書道史研究等の達成のため、調査研究及び普及活動を行うことにより、市民文化及び書道文化の発展振興のための一助とする。				
内容	書道史研究及び杉岡華邨作品の調査研究をすると共に、関係資料等の収集を行う。また、美術館の活動を記録し、書道史研究の資料とするため企画展覧会に合わせ作家や作品についての調査等を行い、それらを掲載した保存資料及び希望者頒布用に図録を作成する。また、書道文化普及のため夏休み期間の子供向けのクイズ企画をはじめ、子供、初心者向けの筆書き体験（水で書ける紙を使い、筆を使い自由に書くことの楽しさを経験してもらう）等の企画等を行う。				
事業費（円）					
	歳入			歳出	
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	2,287,000	2,287,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	580,000	580,000
事業成果					
アンケート等実施の有無 (アンケート等はできるだけ実施してください。 実施の場合、回収件数・回収率等を記入)			無し		
			配布数:	回収数:	回収率:
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		目標値: 実績値:		
	顧客満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか	6	図録等作成においては、作品出品者やご遺族の方々の協力をいただいている。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	6	奈良市杉岡華邨書道美術館の学芸員が担当するとともに、専門家の助言や指導を頂いている。		
	ターゲットは適切に絞れたか				
総合評価（自動計算）		6			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	
	展覧会出品作家、出品作品等の調査を行うとともにそれらをまとめた企画展図録を作成した。また、教育普及のため夏休み期間にこどもクイズや瑞垣体験コーナーを設け、書道についての関心を高め興味を深めるための事業を行った。			将来に伝えるための研究資料としての図録の作成がコスト面で難しくなっているため、調査研究事業の在り方を検討する必要がある。また、夏休みこどもクイズの参加者数が減少しているため、効果的な広報が必要である。	

文化振興計画 事業評価シート

事業名		ならまち篝火コンサート		担当課 施設名	(奈良市ならまちセンター)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1) -③、(2) -①・④
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成10年度	実施回数	1回
日時	平成28年10月8日(土) 開演18時半		会場	奈良市ならまちセンター 市民ホール	
目的	奈良出身のアーティストを中心としたコンサートを開催し、市民や観光客が音楽に親しみを持っていただける機会を提供するため。センター前芝生広場には、篝火を設置し、幻想的な夜のならまちの魅力も発信する。				
内容	予算段階では、奈良出身のアーティストを中心とした野外コンサートを例年通り3回予定していたが、今年度は、センター前広場を石畳から芝生張りへの改修工事完了が7月となった為、芝生養生や近隣住民への騒音問題を熟慮し、開催場所を急遽、市民ホールに調整・変更して1回を開催した。地域のホテルや旅館等には、宿泊者や観光客に対しての広報宣伝を依頼し協力していただき、ならまち振興事業グループ内他施設からは観客の受付・誘導補助、装飾設営等の人員派遣協力など、地域一体となった連携、協力で、にぎわいを育むことが出来た。				
事業費(円)					
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	610,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	支出	610,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	373,152	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	支出	373,152
事業成果					
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無	
指標		評価 (10点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	7	参加者数300人、参加率100%。年度当初の計画では例年通りセンター前広場でのコンサート開催を予定していたが、センター前広場が芝生張り広場に改装の為、芝生養生や近隣への騒音問題を踏まえて、館内市民ホールで実施。開催場所を変更したことにより、当初は参加者数減も予想されたが、満員御礼となった。		
	参加者満足度	8	本事業は継続開催18年目を迎え、今年度も、参加者は、多くのリピーターがあり非常に満足感の高い催しとなっている。このことは、当施設にとって地域の方々に着目している催しの一つといえる。また、このコンサートは、当施設の自主事業の中で最も集客が見込める事業の一つであり、参加者率100%からも読み取れること、継続イベントで地域の方々はこのコンサートが定着していることから、参加者が満足感を十分に得ていたと考えている。		
	市民参画・協働の成果はあったか	6	周辺のホテルや旅館などに広報宣伝の協力依頼を行ったことで、宿泊客や観光客、地域住民が多数参加して下さることにつながった。また、ならまち内の他施設と連携協力し、受付その他の業務を助け合い行ったことは、互いの施設のさらなる信頼関係が育めた。これらは市民参画・協働の大きな成果と言える。ただ、例年の市民参加での飲食ブース等の出店は、コンサート開催場所を館内で行ったため行わなかった。今後、館内でも対応できる対策や方法を検討し成果につなげたい。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	8	レコーディングスタジオを経営されている方の声かけにより集った演奏者総勢18名のビッグバンドのジャズコンサート。メンバーは厳選された学生から社会人、第一線で活躍しているプロミュージシャンであり、その日限りのドリームコンサートで、クオリティの高さは言うまでもない。		
	ターゲットは適切に絞れたか	8	もともと地域ににぎわいを育むために企画したもので、ターゲットとしては地域住民や観光の街ならではの観光客。加えて、コンサート内容がジャズなので、ジャズ愛好家をもターゲットにしたところはある。周辺ホテル・旅館へ広報を行い、宿泊されている方の参加も多数見受けられ、またリピーターとしての地域住民の参加も多かったため、ターゲットは適切であったと考える。		
総合評価(自動計算)		7			
参加者や協働相手からの意見		本年度は諸事情を踏まえ1回のみ開催となったため、参加者からは回数をもっと増やしてほしいという意見が多数寄せられている。施設としては、18年にも及び継続イベントであり地域に定着してきた催しの一つであるため、少なくとも8月から10月の間に3回は開催したいと考えている。しかし広場の芝生への影響や音の問題など考え、今後事業名を見直し屋内での開催に変更することも検討しないと感じている。			
総括	評価年度の状況		改善案・次年度以降の目標		
	多くの開催についての問い合わせがあることから本事業への関心が高いことを感じることが出来る。このことは、継続開催18年をも踏まえて、地域に密着、定着した事業だと考える。しかしながら今年度は、センター前広場の芝生改修工事が遅延し7月完了となったことで野外で開催することが困難となり、急遽、館内市民ホールで、1回のみ開催した。通常の貸館との調整を行いながらであった為、当初予定の3回を1回に減らさざるを得なくなった。また例年、協力団体の飲食ブースなどを芝生養生、保護の為、出店していたため事が出来ず、今後の開催の際の関わり方を見直す必要がある。 ※当事業は無料のコンサートであるためにその経費に関しては全て指定管理料で賄っている。今回においてはその指定管理料の収支差額は、236,848円であり、その残額は奈良市へ返納している。		開催場所をどうするか?芝生への影響は?野外コンサートの為に近年、地域からの音に関する苦情も寄せられていることから、次年度以降本事業をどうするか検討する必要がある。 例えば、イベント名称は変更せずに、コンサートは館内市民ホールで開催し、例年の館外の飲食ブースは芝生を完全養生したところでを行い、イベントはコンサート以外の音の出ないイベント(アートギャラリーやインスタレーション的など)を開催するなど、どうやれば継続開催できるかをまずは検討していきたい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		ならまちいきいきフェスタ		担当課 施設名	(奈良市ならまちセンター)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)-①・③、(2)-①・⑤、(18)-②	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成20年度	実施回数	年1回3日間	
日時	平成29年3月18日(土)～20日(月・祝)		会場	奈良市ならまちセンター 市民ホール		
目的	市民に活動の場を提供し、当施設が新たな文化活動の拠点となることを目的とし開催する					
内容	奈良市在住または在勤の各種団体が様々なジャンルの発表を行う。					
事業費(円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	177,000	支出	177,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	187,931	支出	187,931
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無		
	指標	評価 (10点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	8	開催日を1日増やし、3日間に述べ4000人の来場者があった。出演団体数においても昨年38組に対して、本年度は48組となり10組の増加となった。			
	参加者満足度	7	個々ではホールを借り上げることが難しい団体があり、その大半が発表する機会を求めておられる。安価の参加費で発表できるこのような機会を多く増やしてほしいという意見が多数寄せられていることから、満足頂いていると感じている。			
	市民参画・協働の成果はあったか	8	参加者はすべて市内在住又は在勤の者に限り、約800名の市民参加があった。集客面においてもそれぞれの団体が家族・友人等に声をかけ、集客に努めている。			
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	7	通常当施設を利用している団体を含めた多数の各種団体が、一堂に会する文化祭。その各種団体の参加者である市民が、日頃の練習や取り組みの成果を発表する場として心待ちにしているイベントであり、まさに市民が主役となっている事業である。質の確保・向上の基準点は参加団体それぞれで持っていて十分に達成しようと取り組まれている。そのため、その参加団体に対しての順位付け等は一切ない。各参加者の日頃の活動成果を多くの市民に見ていただく事を目的としていることが質の向上につながるという。			
	ターゲットは適切に絞れたか	7	子供から高齢者までさまざまな年齢層の出演者が参加することで、多くの家族・友人の来場者があった。この参加を機に、独自で市民ホールを借上げしての発表会を行うこととなった団体もいくつか存在する。このことから、ターゲットは適切に絞れていたと考える。			
総合評価(自動計算)		7				
参加者や協働相手からの意見		毎年多くの参加申込団体がある。年によっては参加団体を抽選で決定する事態となっていることから、日頃の活動成果を環境の整った舞台上で発表したいということが分かる。参加者1団体の持ち時間を短縮し、より多くの団体が出演可能になるようにし、年間1回2～3日間の開催を年間2回述べ4～5日間に増やしてほしいという声も上がっている。				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	毎年盛り上がりを見せている本事業。その参加団体に共通している事は独自でホールを借り上げて行うことが金銭面でも集客面でも難しいと感じている。これほどまでに多くの団体からの参加希望があり、抽選会を行い参加数を決定することとなっている事は施設にとって大変うれしいことであり、今後も引き続き継続して行う。 ※当自主事業としての収支差額は、162,069円の黒字であり、当施設所属の統括団体、(一財)奈良市総合財団事務局に当財団の全体運営資金として資金移動し、次年度に向けた繰り越しを行っている。			会場に限りがあるために、参加団体数が増加すればするほど控室が不足することとなる。現時点でも控室を複数団体での共有使用を行い、何とか収めているところである。については、開催期間を長くするか、年間2回開催すかなど、より多くの方が参加出演出来るよう改善検討していきたい。また参加団体が多くなればなるほど人手を要するため、ボランティアスタッフを期間限定で一般募集し、市民参画の幅を広げていくことも考えたい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		ならまち落語会		担当課 施設名	(奈良市ならまちセンター)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)-③、(2)-②・④、(4)- ③	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成20年度	実施回数	年1回	
日時	平成29年2月12日(日)開演14時		会場	奈良市ならまちセンター 市民ホール		
目的	伝統芸能である「落語・講談」を広く市民に親しんでいただく。冬の恒例行事として集客に努め、地域経済の活性化に貢献する。					
内容	「ならまち」に残る昔話や民話など交えて創作するなど、落語を通じて「ならまち」の魅力を広く発信する。					
事業費(円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	150,000	支出	150,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	100,000	支出	100,000
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				有(回収73件・回収率62%)		
指標			評価 (10点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		5	参加者数119人、参加率39.7%。目標値200人。昨年を上回る入場者数があったが、満席まではまだまだ努力が必要である。		
	参加者満足度		7	満足度(とてもよかった・よかった)91%。昨年と比較し10%上昇している。		
	市民参画・協働の成果はあったか		7	ならまちにある民間団体である「奈良町落語館」と協働で開催。その他の落語会を合わせると年間5本の寄席の開催を行い、次第に当施設での落語会が定着してきていると感じる。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		6	本事業は奈良市出身や奈良で活動されている断家を応援するとともに、奈良の特色を活かした寄席の実現を目指している。奈良市出身の落語家笑福亭生寿さんを中心にその師匠他2名ほどの計4席で開催した。質の確保は言うまでもなく、専門家としての伝統芸能を市民に体感していただくことが出来た。		
	ターゲットは適切に絞れたか		6	ターゲットは、幅広い世代の落語愛好家であり、地元ならまちの方々。奈良市内を中心に、木津川市や大和高田市、市外からは大阪や京都からの参加も多数見受けられた。「ならまち」に観光目的で来られた方にも多数来館していただくことが出来た。しかしながら、ターゲットが適切であったかどうかは、判断がつかない。ならまち界隈の方々はじめ、市民が日常的に芸能鑑賞出来るよう、より工夫していくことが必要。		
総合評価(自動計算)			6			
参加者や協働相手からの意見			他の落語会と違い、この公演でしか聞けない斬(演目)が聞けて満足であるという意見が多くあった。この事からもっと地域色のある落語会にしていくよう、協働団体でもある「奈良町落語館」と検討することで一致した。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	一時の落語ブームからは少し落ち着きを見せ、メディアで露出の多い落語家でないとなかなか集客には繋がり難い。その中でも何の縁も無い落語家を誘致するよりは奈良の特色を活かせる演者選びを心がけるようにしている。 ※当自主事業としての収支差額は、92,500円の赤字であり、当施設所属の統括団体、(一財)奈良市総合財団事務局に当財団の全体運営資金として資金移動し、次年度に向けた繰り越しを行っている。			年々増加傾向にあるこの催事。アンケートから十分な分析を行い、今後の本事業に生かしていく。また一般募集で断家養成講座等を開催し、プロの断家と一般市民からの講座修了生との交流を踏まえたイベントを企画するなど、今までの鑑賞型から参加体験型の行事も検討する。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		ならまちコンサート		担当課 施設名	(奈良市ならまちセンター)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2) -①、(5) -②	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成20年度	実施回数	年1回	
日時	平成28年4月15日(金)開演18時		会場	奈良市ならまちセンター 市民ホール		
目的	奈良市総合財団のスケールメリットを生かし、他施設(特に奈良市音声館)と協働で企画し、互いに今後の事業展開に繋げていく。					
内容	奈良らしい音楽コンサートを開催することを目的に、ニューヨークで鍛え上げた洗練されたセンスをベースに進化し続ける奈良出身の実力派ジャズピアニスト兼作曲家、秋田慎治によるジャズピアノソロライブ。					
事業費(円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	400,000	支出	400,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	299,483	支出	299,483
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無		
指標		評価 (10点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	6	参加者数 195人、参加率 65%。目標値200人。 参加者数においては目標数には少し届かなかったものの、収支では大幅な黒字となった。			
	参加者満足度	6	当施設としてのアンケートの実施は行わなかった為に、実際の満足度として数値化することはできなかった。しかし出演者が独自で行ったアンケートを見る限りでは、大半が次回を望んでおり満足度が高いように思われた。			
	市民参画・協働の成果はあったか	7	出演者であるジャズピアニストの秋田慎治さんが奈良県出身であることから多くの友人や家族が来場していただいた。広報面でも看板・広報物の制作や掲示スペースの提供など、他施設と連携して行った。			
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	8	ソロピアノツアーの最終公演として奈良公演が実現した。国内外問わず多方面で活躍されており、各方面で高い評価を得ている実力派のアーティストである。			
	ターゲットは適切に絞れたか	7	金曜日の夜公演にすることで、仕事終わりにでも参加できるように設定し、多くの来場者を魅了した。			
総合評価(自動計算)		7				
参加者や協働相手からの意見		奈良出身の演奏者ではあるが、主に東京など関東を中心に演奏活動をされている為に、地元関西での公演が少ない。その中で奈良での公演はなかなか機会がなく、毎年恒例としてほしいという意見があった。演奏者でもある秋田さんから、引き続き奈良での公演活動を続けたいと言っていた。				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	県内の文化施設やフリーペーパー、情報誌などへの公演案内を行ったが、当初はチケット販売が思うように伸びず大変苦労した。今回の演奏者である秋田さんはジャズを中心にライブハウス等で活動されている事が多く、市民ホールといった数百人収容の施設よりかは小規模スペースで飲食をしながら聞いていただく形が多いように思われる。またトリオ編成ではなく、ソロコンサートであった事からジャズファンを取り込むことが出来なかった。 ※当自主事業としての収支差額は、143,517円の黒字であり、当施設所属の統括団体、(一財)奈良市総合財団事務局に当財団の全体運営資金として資金移動し、次年度に向けた繰り越しを行っている。			ジャズといったジャンルに限らず、周辺にある飲食店・施設などと情報交換を行い、地域活性・にぎわい創出に向けた行事となるべく財団他施設や地域と協働で企画検討していく。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		ならまち文化講演会		担当課 施設名	(奈良市ならまちセンター)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1) -④、(2) -④、(3) -②	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成10年	実施回数	年1回	
日時	開催なし		会場	奈良市ならまちセンター 会議室(予定)		
目的	市民・観光客を対象に奈良の文化財に対する理解を深め、保護・普及を身近に感じていただくことを目的に開催する。					
内容	毎年秋に奈良国立博物館で行われる「正倉院展」の事前学習会。宮内庁正倉院事務所から講師を招き、公開される宝物の解説・見所及び保存法などを講演していただく。					
事業費(円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	37,000	支出	37,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	0
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)						
指標			評価 (10点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		0			
	参加者満足度		0			
	市民参画・協働の成果はあったか		0			
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		0			
	ターゲットは適切に絞れたか		0			
総合評価(自動計算)			0			
参加者や協働相手からの意見						
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	5月頃から宮内庁正倉院事務所との講演会日程・講師派遣を調整したが、日程調整が上手くいかず開催することが出来なかった。			毎年、事前学習会として行うために正倉院展が始まる10月下旬前の10月初旬から中旬の間に行っていた。正倉院事務所内の研究員及び調査員の異動等で講師となる人材が限られており、その方に調整が非常に困難であった。正倉院展自体がいつから開催されるかはその年の夏以降にならないと発表されないこともあり、市民だより等の広報を行う締切を考えると厳しい状況はある。2年連続で開催することが出来ておらず、29年度からは本事業を廃止し、他の新規事業を計画している。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成28年度）

事業名		わらべうた教室		担当課 施設名	(奈良市音声館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(4) - ① (9) - ①
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成7年	実施回数	子どもクラス：6クラス×年25回 いきいきクラス（大人）：3クラス×年10回
日時	子どもクラス：毎月火～金曜日 9：30～11：30 / 15：00～17：00 いきいきクラス：毎月第4金曜日 ①10：00～11：15 ②12：30～13：45 ③14：30～15：45		会場	音声館ホールまたはプレイルーム2	
目的	奈良に伝わる“わらべうた”を継承し、ならまちの文化振興に役立てるとともに、わらべうたを通して奈良の歴史や文化への関心を育み、ふるさと奈良への愛情と誇りを育む。 わらべうた本来の姿を大切にしながら現在にふさわしいアプローチ方法を用いてわらべうたへの興味・関心を引き出し、同時にわらべうたを通して子どもたちの人間関係づくりを援助し、幅広い層での世代間交流を経験できる場を提供する。				
内容	1・2歳児クラス（親子）2クラス/水・木：各25組程度 3歳児クラス（親子/子どものみ）2クラス/木・金：各20人程度 4・5歳児クラス（子どものみ）/木：20人程度 小学生クラス（1～6年生）/水：40名程度 いきいきクラス（50歳以上）3クラス/金：各70名程度				
事業費（円）					
			歳入	歳出	
予算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）		その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	4,313,000	4,313,000
決算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）		その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	2,960,855	2,960,855
事業成果					
アンケート等実施の有無 （アンケート等ではできるだけ実施してください。 実施の場合、回収件数・回収率等を記入）			無		
			配布数：	回収数：	回収率：
指標		評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	6	毎年受講希望が多く、抽選になるなど十分な参加者数を得ていると考える。 目標値：400 実績値：460		
	顧客満足度	7	継続希望者が多数いることから、満足度が充分であると思われる。		
	市民参画・協働の成果はあったか	7	講師陣とともに、年間のカリキュラムを考え実施した。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	7	熟練のわらべうた講師より若手の講師への指導がなされ、質の確保はできているものと考ええる。		
	ターゲットは適切に絞れたか	6	市内を中心にたくさんの受講生が参加している。		
総合評価（自動計算）		7			
参加者や協働相手からの意見		<p>（参加者） 奈良に住みながら、奈良の伝統行事等についてほとんど知らなかったが、教室に通う中でわらべうたと共に行事についても教えてもらい、大変興味深くなった。子どもたちも小さなころから奈良に親しむことができて良い。</p> <p>（協働者） わらべうた遊びを通して、親子で触れ合う良い機会となっている。 子どもたちの心身の成長を促すわらべうたを次世代に継承する貴重な場所である。</p>			
総括	評価年度の状況		改善案・次年度以降の目標		
	目的の一つである「わらべうたを通して親子や友人などの基本的人間関係を築き上げる機会を提供する」に値する事業であり、受講者にとって身近にわらべうたを学び、交流を深める場となり、文化に対する意識向上につながった。		少子化が進み、幼稚園等でも子ども確保のために様々な取り組みをされている（園内での稽古事等）ため、時間帯等の問題からわらべうた教室に通う子ども（特に3才～5才）が減っている。そのあたりを考慮して今後の取り組み方を考えていきたい。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成28年度）

事業名		わらべうた派遣 (出張わらべうた教室)		担当課 施設名	(奈良市音声館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(7) - ③
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成25年度より 有料化	実施回数	19施設・30件
日時	5月～2月までの依頼日		会場	各施設または音声館ブレイルーム2・ホール	
目的	市内外の学校・園等を中心に出張わらべうた教室を行い、わらべうた遊びの指導を行う。幼児・初等教育におけるわらべうた遊びの実践方法を現場で公開することで、教員等がわらべうたの効果を実感し現場に取り入れやすくなるよう推進する。 ならまち・音声館の活動を広報するとともに、遠足等での来館を推進する。				
内容	学校・園等からの依頼を受け職員及びわらべうた講師が出向き、出張わらべうた教室を開催してわらべうた遊びの指導等を行う。				
事業費（円）					
			歳入	歳出	
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	485,000	485,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	216,630	216,630
事業成果					
アンケート等実施の有無 (アンケート等はできるだけ実施してください。 実施の場合、回収件数・回収率等を記入)			無		
			配布数：	回収数：	回収率：
指標		評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	7	毎年継続での依頼が多く、また新規の依頼も年々市内内外に広がっていることから達成度は高いと考える。 目標値：1,400 実績値：1,447		
	顧客満足度	7	継続の依頼が多いことから、満足度も高いと考える。		
	市民参画・協働の成果はあったか	6	指導者だけでなく親子と一緒に体感することでわらべうた遊びの重要性に気づき、さらなる依頼に繋がるなど広がっている。また、最近は民生委員や自治会からの依頼もあり、子供から大人まで幅広い世代の交流にも繋がっている。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	6	熟練のわらべうた講師より若手の講師への指導がなされ、質の確保はできているものと考えられる。		
	ターゲットは適切に絞れたか	7	市内を中心に多くの施設・学校・団体より依頼がある。		
総合評価（自動計算）		7			
参加者や協働相手からの意見		<p>(参加者) ①参観（親子）でわらべうた遊びを教えてもらう事で、家庭で伝統的なわらべうた遊びを楽しめるようになった。 ②ベテラン保育士が減り、わらべうた遊びを教える人が少なくなっていく中で、出張わらべうた教室をお願いし、若い保育士にもわらべうた遊びのゆったりとしたリズムや動きを教えていただく事ができた。</p> <p>(協働者) 出張わらべうた教室に向かうことで、ご家族や、幼稚園・保育園・こども園また施設等の教員や指導員から現在の子どもの状況や悩み・わらべうたを使ってどのようにアプローチができるか相談を受けることが多く、わらべうたの必要性、重要性が幼児教育の中で再認識されてきていると感じる。</p>			
総括	評価年度の状況		改善案・次年度以降の目標		
	わらべうた遊びの実践方法を現場で公開し体感していただくことで、指導者や親子にとって身近にわらべうたを学び、交流を深める場となり、わらべうたに対する意識向上につながった。年々依頼の件数も増加、市内だけでなく市外・県外からも要望がありニーズは高い。また、幼児教育以外にも高等学校や民生委員・自治体などからの依頼も増え、幼児だけでなく学生・大人まで幅広い年齢層からの関心が高い。		少子化の時代、待っていても子どもたちは来ないため、アウトリーチを積極的に行っていきたい。また、幅広い年齢層へのわらべうた普及に努めていきたい。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成28年度）

事業名		奈良の民話普及事業 (劇団「良弁杉」)		担当課 施設名	(奈良市音声館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2) - ①②③④ (7) - ①
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成7年	実施回数	15回
日時	通年		会場	館外および音声館ホール	
目的	奈良に伝わる数多くの民話を、より広くの人々に知ってもらうために、ミュージカルという幅広い世代に楽しんでもらえる手法により普及活動を行う。				
内容	奈良に古くから伝わる民話をもとに音声館が平成7年に創作ミュージカルとして制作・上演。東大寺の開祖”良弁僧正”の生い立ちを描いた作品。				
事業費（円）					
			歳入	歳出	
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	1,907,000	1,907,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	1,372,115	1,372,115
事業成果					
アンケート等実施の有無 (アンケート等はできるだけ実施してください。 実施の場合、回収件数・回収率等を記入)			有		
			配布数： 130	回収数： 106	回収率： 82%
指標		評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	6	館内公演の他、館外公演は各種施設・学校等からの公演依頼を受け、十分な参加者数を得ていると考える。 目標値：1,300 実績値：1,365		
	顧客満足度	7	新規の来場者はもとより2～5回目の来場者も見受けられ、満足度は十分であると考ええる。		
	市民参画・協働の成果はあったか	6	市民が参加しやすいジャンルであるミュージカル等の表現を活用し、日頃表現活動への参加機会が少ない市民の舞台活動への参加は、十分成果があったと考える。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	7	プロの演出家・舞踊家であり、長年劇団「良弁杉」の演出に携わってきた講師陣によるきめの細かい指導により、質の確保・向上は充分なされていると考える。		
	ターゲットは適切に絞れたか	6	通常の公演は大人を中心に、また、幼稚園等では子どもを対象に行っている。		
総合評価（自動計算）		6			
参加者や協働相手からの意見		(参加者) アンケートより 長年、奈良に住みながら知らなかった話だった。これからも伝えていってほしい。 市民劇団としてのレベルが高く、驚かされた。 (協働者) 奈良の民話の普及活動と共に子どもの情操教育や奈良のPRに役立てられれば幸いです。 ミュージカルを通して人と人との出会いが新しい奈良市の文化を創っていると感じている。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	
	奈良の民話を多くの人に伝えるため、創作ミュージカルのほか、大型・中型の紙芝居でも作品を上演し、市内幼稚園・小学校などへの出張公演も積極的に行った。			平成27年度の100回公演を経て、今後も活動を続けることでさらなる奈良のPRに繋げられると考えている。県外での公演も積極的に行っていきたいが、予算確保が今後の課題であり、協賛金やスポンサーを募ることが必須である。	

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成28年度）

事業名		エントランスギャラリー		担当課 施設名	(奈良市音声館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2) - ①
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成8年	実施回数	通年（1期間：10日～14日）
日時	通年		会場	音声館エントランス	
目的	館内空間を無駄なく利用し、同会場にて開催のコンサートと同時開催することで、耳だけでなく目でも楽しんでもらうことを目的としている。また、ギャラリー目的の来館者に足を運んでいただくことで、同館での活動を知ってもらう機会とする。				
内容	一般公募において応募のあったグループまたは個人の作品展示。年間約20組の作品展を開催。				
事業費（円）					
			歳入	歳出	
予算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）		その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	154,000	154,000
決算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）		その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	41,632	41,632
事業成果					
アンケート等実施の有無 （アンケート等はできるだけ実施してください。 実施の場合、回収件数・回収率等を記入）			無		
			配布数：	回収数：	回収率：
指標		評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	6	年間利用率はほぼ100%であるため、十分な参加率であったと考える。 目標値：160 実績値：152		
	顧客満足度	6	リピーターが多く、希望通りの作品展を開催できていると思われる。		
	市民参画・協働の成果はあったか	6	市民対象の事業であるため、成果ありと考える。 展示期間中は来館者が増加する。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	6	出展者募集の際に、作品の提示または写真での審査を行っている。		
	ターゲットは適切に絞れたか	6	様々なジャンルの作品を出展することで、より多くの来館者に足を運んでいただけたと考える		
総合評価（自動計算）		6			
参加者や協働相手からの意見		（参加者） 同会場でのコンサートと同時開催することで、より多くの来館者に鑑賞していただけて良い。			
		（協働者）			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	
	年間を通して、利用率はほぼ100%である。このため、今後もニーズがあると考えられる。平常時、施設見学していただく箇所が少ないことから、ギャラリー展示をすることにより、より多くの市民や観光客に来館する機会を増やし、来館者の増加とともに、音声館のPRにつながっている。			リピーターの出展者が多いため、次年度以降は初応募の参加者を増やしていく工夫が必要。	

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成28年度）

事業名		エントランスギャラリー (ギャラリー制作教室)		担当課 施設名	(奈良市音声館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2) - ①
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成8年	実施回数	4回
日時	①7月20日(月・祝) ②8月2日(日) 2回③11月28日(土)		会場	音声館2F会議室	
目的	ギャラリー出展者を講師に迎え、見るだけでなく、制作することで芸術の奥深さを感じてもらうことを目的とする。				
内容	子ども対象：制作教室(ねんどクラフト・科学工作) / 大人対象：水彩画教室				
事業費(円)					
			歳入	歳出	
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	154,000	154,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	41,632	41,632
事業成果					
アンケート等実施の有無 (アンケート等はできるだけ実施してください。 実施の場合、回収件数・回収率等を記入)			無		
			配布数:	回収数:	回収率:
指標		評価 (10点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	6	いずれも募集人数に達しているため、十分な参加率であったと考える。 目標値: 60 実績値: 59		
	顧客満足度	7	創る喜びや感性を養うことができ、満足度は高いと思われる。		
	市民参画・協働の成果はあったか	6	市民対象の事業であるため、成果ありと考える。 対象者を決め、それに合わせた内容を講師と決めている。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	6	日頃より講師として指導している方に依頼しているため、質の確保はできたと考える。		
	ターゲットは適切に絞れたか	6	対象別に開催しているため、其々のターゲットは絞れていると考える。		
総合評価(自動計算)		6			
参加者や協働相手からの意見		(参加者) 制作教室を受講してより芸術・文化に興味を持つ事が出来た。 (協働者) 子どもには、様々な芸術に触れてもらい、感性を養ってもらいたい。そのきっかけになれば、と思い教室をさせてもらっている。			
総括	評価年度の状況		改善案・次年度以降の目標		
	毎年楽しみにしている市民の方がおり、好評である。未来を担う子供たちの感性を育む機会として、昨年度より回数を増やし、より多くの子どもたちに参加してもらうことができた。また、普段足を運ばない方に来館してもらうことで、入館者の増加とともに、音声館のPRにつながっている。		子ども対象は夏休み、と限定しているが、年間を通して企画して行きたい。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成28年度）

事業名		音楽を楽しもう！ (楽しく！コーラス)		担当課 施設名	(奈良市音声館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(8) - ①
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成20年	実施回数	年26回
日時	月2回（土曜日または日曜日）		会場	音声館ホール、その他	
目的	親子を含め、子どもと大人が一つのコーラスグループとなって、ともに音楽を創り上げる機会として活動する。また、男女や大人、子どもを分けて取り組む機会を作り、各々の歌唱力向上への働きかけも行う。				
内容	童謡やわらべうた、ポップスなど様々な分野の合唱に取り組み、子どもも大人も楽しくコーラスに親しむ機会とする。また、子どもと大人が共に活動する中で共通の目標を持ち、完成させる喜びを伝える。活動の成果発表の場として、なら100年会館チャリティコンサートに出演。				
事業費（円）					
			歳入	歳出	
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	2,413,000	2,413,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	1,275,726	1,275,726
事業成果					
アンケート等実施の有無 (アンケート等はできるだけ実施してください。 実施の場合、回収件数・回収率等を記入)			無		
			配布数：	回収数：	回収率：
指標		評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	6	ロコミヤステージ発表を見た方など、受講希望者が増え、活動が広まってきている。 目標値：50 実績値：56		
	顧客満足度	7	通常練習の出席率も良く、受講生の参加意欲が高い。		
	市民参画・協働の成果はあったか	7	家族で参加できる合唱団として活動しているため、参加者からの意見も拾いながら選曲等、実施している。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	7	通常の練習以外にも、希望者には個別レッスンを行い、質の向上を目指している。		
	ターゲットは適切に絞れたか	6	主に親子を対象としている。ほとんどの受講生が家族（父・母・子ども）で受講しているのでターゲットは絞れている。		
総合評価（自動計算）		7			
参加者や協働相手からの意見		<p>(参加者) 5歳から50代までの様々な世代が共に活動することで、音楽を通して世代を超えた活動ができ、とても楽しい、と受講生からの意見が聞かれる。</p> <p>(協働者) 家族で楽しめるコーラスは全国的にも珍しいが、その楽しさを十分に味わってほしいという思いで指導させてもらっている。また、東日本大震災のチャリティコンサート出演等で社会貢献にも寄っていると自負している。</p>			
総括	評価年度の状況		改善案・次年度以降の目標		
	年々、受講生が増え、活動が活発になってきている。新しいジャンルの曲にも積極的に取り組み、受講生を飽きさせない工夫をしている。子・父・母で参加している家族も多く、“楽しさ”を重視した活動を展開している。		子どもと大人が共に楽しめる教室として、その特色を生かした活動を今後も幅広く展開していきたい。次年度は10周年の節目の年なので、これまでの練習の成果を広く市民に周知するきっかけとする。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成28年度）

事業名		音楽を楽しもう！ (子ども邦楽教室～三味線・尺八・箏～)		担当課 施設名	(奈良市音声館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(4) - ①
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	三味線(平成21年) 尺八(平成23年) 箏(平成25年)	実施回数	年13回程度
日時	毎月、土曜または日曜、月1～2回		会場	音声館プレイルーム2または和室	
目的	近年、学校音楽教育で必修となった邦楽を手軽に学べる場を提供し、日本の文化を学ぶことを目的とする。				
内容	邦楽の師匠を講師に招き、邦楽の基礎を学ぶ。また、年1回成果発表の場を設け目標を持って稽古に取り組んでいる。				
事業費(円)					
歳入				歳出	
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	2,413,000	2,413,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	1,275,726	1,275,726
事業成果					
アンケート等実施の有無 (アンケート等はできるだけ実施してください。 実施の場合、回収件数・回収率等を記入)			無		
			配布数:	回収数:	回収率:
指標		評価 (10点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	7	毎年受講希望が増加傾向にあり、クラスを増設したため十分な参加者数を得ていると考える。 目標値: 45 実績値: 46		
	顧客満足度	6	ほとんどの受講生が継続希望であることから、満足度が充分であると思われる。		
	市民参画・協働の成果はあったか	6	クラス編成から選曲、発表会の構成、また練習計画等を講師陣と相談しながら進め、受講生一人一人に合った稽古内容で進めていくことができた。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	6	邦楽の師匠による指導であることから、質の確保はできているものと考ええる。		
	ターゲットは適切に絞れたか	6	受講者は小中学生としており、ほぼ全学年が参加している。		
総合評価(自動計算)		6			
参加者や協働相手からの意見		(参加者) 月1回(尺八は2回の時もあり)の稽古なので無理なく続けやすい。教室の雰囲気も堅苦しくなく楽しい雰囲気なので通うのが楽しい。発表会では他の楽器の演奏を聴くことができ楽しかった。他の邦楽器も習いたくなった。(受講生と保護者より) (協働者) この教室では、まず邦楽に興味を持ってもらうことが主な目的なので、まずは楽しく演奏することに重点を置いている。子どもたちが長く続けてくれることを望んでいる。(講師陣より)			
総括	評価年度の状況		改善案・次年度以降の目標		
	設置目的の一つである「音楽及び演芸の振興を図り、市民の文化の向上に資する」に値する事業であり、受講者にとって身近に邦楽を学べる場となり、文化に対する意識向上につながった。また、発表会を行うことで互いの教室生の演奏を聴くことができ、それにより刺激を受けより邦楽に興味を持つ子どもが多数いた。次年度より邦楽教室をかつ受講生も出てきた。(尺八と箏、三味線と箏など)		継続年数が長い受講生が増えてきたため演奏レベルも徐々に上がってきている。今後はより幅広い演奏を目指し、また館外での演奏の機会も作っていただろうと考えている。尺八は特に小学生で吹きこなすのは難しい楽器なので、「見学・体験」を随時受け入れる等PRを積極的に行う。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成28年度）

事業名		音楽を楽しもう！ (特別コンサート)		担当課 施設名	(奈良市音声館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2) -①
	基本施策	2-05	文化振興		(5) -①
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年		実施回数	1回
日時	平成28年11月19日		会場	音声館ホール	
目的	さまざまなジャンルのアーティストを迎えて子どもから大人までが楽しめるコンサートを行う。				
内容	奈良市出身のオカリナ奏者によるオカリナと歌のコンサートを楽しんでいただき、さらにならまちの老舗和菓子店によるオリジナル和菓子と奈良ブランド「大和茶」をお土産として渡す。				
事業費（円）					
			歳入	歳出	
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	2,413,000	2,413,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	1,275,726	1,275,726
事業成果					
アンケート等実施の有無 (アンケート等はできるだけ実施してください。 実施の場合、回収件数・回収率等を記入)			有		
			配布数：88	回収数：76	回収率：86.4%
指標		評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	7	チケットは即完売し、再公演を希望する声が多かった。 目標値：90 実績値：88		
	顧客満足度	8	オカリナ習得中の方が多く来場。楽器への興味や関心が高く、またお土産付演奏会ということで満足度はほぼ100%		
	市民参画・協働の成果はあったか	7	当館スタッフも演奏者として参加し、客層に合わせた選曲やプログラム構成を協働で行った。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	7	各方面での演奏活動や指導者としての実績があるため、十分に質の確保ができた。		
	ターゲットは適切に絞れたか	6	オカリナ愛好者のみならず、さまざまな年代の方が来場。		
総合評価（自動計算）		7			
参加者や協働相手からの意見		(参加者) アンケートより オカリナの演奏はもちろん、歌やトークにも癒されました。また、このようなコンサートを行ってほしい。お土産の和菓子がオカリナの形で可愛かった。 (協働者) 出演者より オカリナの魅力を伝えるため、また楽器に親しみを持ってもらうために多くの人にオカリナの音色を届けたい、という思いで演奏しました。”音楽の館”音声館でコンサートを行うことができ、お客様もとてもあたたかく演奏しやすかったです。またコンサートをさせていただきます。			
総括	評価年度の状況		改善案・次年度以降の目標		
	限られた予算（入場料収入のみ）で質の良いコンサートを提供しよう、と昨年度より企画し、さまざまなジャンルのアーティストを招き行っている。フロの演奏家によるコンサートは一定の評価を得られ好評である。またセミフロによるコンサートも、安価で良質の音楽が楽しめる、と幅広い客層に好評であった。		県ムジークフェストや市民フェスティバル等の開催時期等を考慮して連携して行う、また当館でのシリーズ化公演にする等、一定の集客が見込めるような企画を考えていきたい。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成28年度）

事業名		エントランスコンサート (やわらぎコンサート)		担当課 施設名	(奈良市音声館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2)-① (5)-①
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成24年	実施回数	年24回
日時	土日祝の指定日 14:00~14:45		会場	音声館エントランス	
目的	無料のコンサートを通して市民や近隣住民の方々、また観光に来られた方々に気軽に来場いただき、同館での活動を知っていただく機会とするとともに、アマチュア演奏家を中心に演奏発表の場を提供する。				
内容	出演者を一般募集。音響・司会等運営を音声館スタッフがを行い、アマチュア演奏者等に発表の場を提供する。				
事業費（円）					
			歳入	歳出	
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	128,000	128,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	67,677	67,677
事業成果					
アンケート等実施の有無 (アンケート等はできるだけ実施してください。 実施の場合、回収件数・回収率等を記入)			有(出演者のみ)		
			配布数: 24	回収数: 16	回収率64%
指標		評価 (10点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	6	来場者数が最多数120名~最少数40名までとばらつきはあるものの、年間平均が70名と年間を通して高い来客率であったと考える。(来場者数1,720名・出演者数157名) 目標値: 1,900 実績値: 1,877		
	顧客満足度	6	色々な楽器演奏から歌、そしてダンスまで幅広いジャンルの出演者を選び企画することで、聴きに来てくださるリピーターが多く、満足度は高いと思われる。		
	市民参画・協働の成果はあったか	7	出演者が市内の方が多く、演奏するにあたり友人や知り合い等幅広く広報してくださることで初めて音声館に訪れた方も多く、音声館の活動等のアピールにつながっている。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	6	例年、出演者の募集数に対し倍近い多くのアマチュアやプロ演奏者が応募くださるようになってきた。演奏者のレベルも向上し、色々なジャンルの音楽を提供でき、音楽の分野の幅を広げることができる。		
	ターゲットは適切に絞れたか	6	様々な世代・ジャンルの音楽をしていただくことで、より多くの来館者に足を運んでいただけたと考える。		
総合評価(自動計算)		6			
参加者や協働相手からの意見		<p>(参加者) 音響が良くお客様との距離が近いことで舞台・客席が一体となった。多くの市民の方々や観光客に来館していただけて良かった。</p> <p>(協働者) 6月の3回は、初めて県主催「ムジークフェストなら」とコラボ。市内だけでなく市外・県外に広く広報でき、いつも以上にたくさんの方が来館下さり、音声館のPRにつながる事ができた。</p>			
総括	評価年度の状況		改善案・次年度以降の目標		
	年間を通して、毎回70名近い方々がコンサートに来て下さり、来場者数は安定している。また、出演募集数に対し倍近い応募があることから、演奏家にとって良い活動の場となっている。また、幅広い演奏を企画することができ、音楽の分野の幅を広げることができている。 平常時、施設見学していただく箇所が少ないことから、無料コンサートを企画することにより、より多くの市民や観光客が来場する機会を増やし、来場者の増加とともに、音声館のPRにつながっている。		来場者数はある程度安定しているが、次年度以降も内容を充実させ、県主催の「ムジークフェストなら」などとコラボをしながら、より多くの方々に来館していただき、活動をアピールできるよう企画運営していきたい。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成28年度）

事業名		エントランスコンサート		担当課 施設名	(奈良市音声館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2)-① (5)-①
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成7年	実施回数	年12回（月1回）
日時	毎月第二日曜日 14:00~14:45		会場	音声館エントランス	
目的	聴きに来てくださった方々が一緒に参加できる音楽を毎月定期的に行い、また、同会場にて開催のギャラリーや子どもお茶教室生による茶会（年間4回）を同時に企画することで、五感で楽しむコンサートを開催し、市民や近隣住民の方々、また観光に来られた方々に気軽に来館いただき、同館での活動を知っていただく機会とする。				
内容	企画・演出・出演等を音声館スタッフが中心に行い、職員の素養や専門性を活用する。アマチュア演奏者等をゲストに迎え、発表の場を提供するとともに、提供する音楽の分野の幅を広げる。				
事業費（円）					
			歳入	歳出	
予算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）		その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	128,000	128,000
決算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）		その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	67,677	67,677
事業成果					
アンケート等実施の有無 （アンケート等はできるだけ実施してください。 実施の場合、回収件数・回収率等を記入）			無		
			配布数：	回収数：	回収率：
指標		評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	7	年間を通して十分な参加率であったと考える。 目標値：800 実績値：815		
	顧客満足度	6	毎月季節や話題、幅広い世代に応じた曲を選び、企画することでリピーターが多く、満足度は高いと思われる。		
	市民参画・協働の成果はあったか	7	ただ聴くだけのコンサートだけではなく、来館された方々が生演奏に合わせて一緒に歌うコーナーを設けることで出演者とお客様とともに創り上げていくコンサートとなっている。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	7	アマチュア演奏者等をゲストに迎えることで色々なジャンルの音楽を提供でき、音楽の分野の幅を広げることができる。またゲストとコラボすることで音声館スタッフの演奏技術の向上にもつながっている。		
	ターゲットは適切に絞れたか	6	様々な世代・ジャンルの音楽をしていただくことで、より多くの来場者に足を運んでいただけたと考える。		
総合評価（自動計算）		7			
参加者や協働相手からの意見		（参加者） 毎回「みんなで歌おうコーナー」で一緒に歌うことを楽しみにしている。			
		（協働者） 毎月エントランスが満員になるほどお客様が来てくださり、「ここに来るのを楽しみにしている」「こんな曲をしてほしい」「今度は友達と一緒に歌いに来ます」などのお声をたくさんいただくのでやりがいが大きく、自分の音楽の幅も広がられるので引き続きボランティア演奏を続けていこうと思う。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	
	年間を通して、60~80名近くの方が毎回コンサートに来て下さり、来場者数は安定している。周囲に気兼ねすることなく歌えることが人気の要因の1つであると思われる。このため今後もニーズがあると考えられる。平常時、施設見学していただく箇所が少ないことから、コンサートをすることにより、より多くの市民や観光客に来館する機会を増やし、来場者の増加とともに、音声館のPRにつながっている。また、ギャラリー・子どもお茶教室生によるお茶会と同時開催することで、より多くの市民の方々が観光客に来館していただけて良い。			リピーターの観客が多いため、次年度以降も来場者が飽きないよう内容を充実し、継続していきたい。また、ボランティア演奏者を増やして行きたい。	

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成28年度）

事業名		日本の伝統文化を学ぼう (音声館子どもお茶教室)		担当課 施設名	(奈良市音声館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(4) - ①
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成15年	実施回数	年12回
日時	毎月、第2日曜 正午～3時		会場	音声館和室	
目的	日本に伝わる伝統的な文化である「茶道」を次世代への継承するため、また、子どもたちが経験を通して日本の文化を知り、ふるさとを愛する心を育むことを目的とする。				
内容	茶道の講師を招き、小学生を対象に茶道の基本的な作法や点前を月1回稽古する。年4回、館内において「お茶会」を開催。				
事業費（円）					
			歳入	歳出	
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	319,000	319,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	304,500	304,500
事業成果					
アンケート等実施の有無 (アンケート等はできるだけ実施してください。 実施の場合、回収件数・回収率等を記入)			無		
			配布数:	回収数:	回収率:
指標		評価 (10点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	7	毎年受講希望が絶えず、抽選を行っているため十分な参加者数を得ていると考える。 目標値: 22 実績値: 22		
	顧客満足度	6	継続希望者が多数いることから、満足度が充分であると思われる。		
	市民参画・協働の成果はあったか	7	より充実した内容で行えるよう、講師陣とは年間計画や教室開催ごとに打ち合わせを行っている。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	7	茶道の講師数名で指導にあたるため、教室内容の質は確保していると考ええる。		
	ターゲットは適切に絞れたか	6	受講者は小学3年生～6年としており、全学年が参加している。		
総合評価 (自動計算)		7			
参加者や協働相手からの意見		(参加者) ・講師が充実していて一人一人丁寧に教えて下さるのでありがたい。(保護者) ・敷居の高い日本の文化を気軽に学べるのが良い。(保護者) ・お茶会では一人で点前を披露するので緊張するけど楽しい。(受講生) ・学校のクラブで習っている。両方で習えてうれしい。(受講生) (協働者) ・子どもたちが茶道に興味をもってきているのがありがたい。受講は6年生までだが、中学生以降も興味を持ち続けてもらいたい。(講師)			
総括	評価年度の状況		改善案・次年度以降の目標		
	設置目的の一つである「音楽及び演芸の振興を図り、市民の文化の向上に資する」に値する事業であり、受講者にとって身近に日本の伝統文化を学べる場となり、文化に対する意識向上につながった。受講生の受け入れは6年生までであるが、卒業後も講師や受講生のサポート役として数名が来てきている。		新しい企画も取り入れながら、他施設（特にならまち）との連携をもって事業を展開して行きたい。子どもたちがより深く、また広く興味を持てるような取り組みを考えていきたい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		指定管理事業 展覧会「入江泰吉 春の大和」展		担当課 施設名	(入江泰吉記念奈良市写真美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(2) - ④
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発	継続	事業開始年	平成4年度	実施回数	1回
日時	平成28年4月2日～6月12日			会場	入江泰吉記念奈良市写真美術館	
目的	テーマを替えながら一年を通して写真作品を展示し、奈良を訪れる方々に、入江作品をはじめ多様な写真芸術作品を鑑賞していただく。					
内容	「春」をテーマに、入江泰吉の風景作品の代表作を中心に展示。					
事業費 (円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	170,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	170,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	169,434	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	169,434
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				有 (回収件数68件/回収率1.6%)		
指標			評価 (10点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		6	観覧者数4,257名/会期中の入館者数8,055名		
	参加者満足度		9	アンケートにて、93%のお客様から概ね「良い」の評価をいただいた。		
	市民参画・協働の成果はあったか					
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		8	入江作品の専門家である当館学芸員が中心に企画し、入江泰吉氏の弟子の方々の意見を取り入れ、展示構成に反映できた。		
	ターゲットは適切に絞れたか		7	写真美術館にご来館いただける客層である入江泰吉ファン、写真愛好者、観光客等にターゲットとしたところ、一定の効果が得られた。		
総合評価 (自動計算)			8			
参加者や協働相手からの意見			*入江泰吉作品については、古都大和の風景と自然の草花が違和感なく、いにしへの情景がよく感じられる写真であった。 *奈良に住むものとして奈良の良さを再認識できた。 (アンケートより)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	開館以来、テーマを設け入江泰吉作品を展示してきた。今回は「春」をテーマに作品を紹介。会期は春の行楽シーズンであり、また代表作が中心の展覧会であったため、お客様の満足度も高かった。			単に入江作品を展示するだけでなく、テーマ設定を重要視し、お客様に飽きられない展覧会の開催を目指したい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		指定管理事業 展覧会「ゼラチンシルバーセッション」巡回展		担当課 施設名	(入江泰吉記念奈良市写真美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(2) - ①
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発	継続	事業開始年	平成4年度	実施回数	1回
日時	平成28年4月2日～6月12日			会場	入江泰吉記念奈良市写真美術館	
目的	テーマを替えながら一年を通して写真作品を展示し、奈良を訪れる方々に、入江作品をはじめ多様な写真芸術作品を鑑賞していただく。					
内容	カメラのデジタル化に伴い、急速に減少しつつあるフィルム写真（銀塩写真）の魅力伝える写真展。写真の表現手段の選択肢として次世代に銀塩写真を残していくために賛同した写真家たちによるコラボレーションを実現し、東京展に続き奈良での巡回展を開催する。					
事業費（円）						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	550,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	550,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	498,728	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	498,728
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				有 (回収件数68件/回収率1.6%)		
指標			評価 (10点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		7	観覧者数4,257名/会期中の入館者数8,055名		
	参加者満足度		9	アンケートにて、93%のお客様から概ね「良い」の評価をいただいた。		
	市民参画・協働の成果はあったか		8	作家によるトークショー等のイベントを開催し、多くの市民に参加していただくことで、協働の成果を得られた。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		8	日本で活躍する現役最高峰の写真家を招聘することで、最先端の写真芸術を展示に反映することができた。		
	ターゲットは適切に絞れたか		8	写真を勉強する方、写真家を目指す若者等をターゲットとしたところ、一定の効果が得られた。		
総合評価 (自動計算)			8			
参加者や協働相手からの意見			*フィルム写真のよさが伝わってきたし、何より、印画する人が違うだけで、ひとつの写真が全く違うふたつの写真になることに驚いた。 *観覧料以上の展示内容に大変満足した。 (アンケートより)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	写真の特化した展覧会を開催することができた。写真業界からの評価も高く、写真文化の活性化につながった。			「入江泰吉」という冠のついた写真美術館であるが、入江作品のみならず多様な写真芸術作品を紹介する写真美術館としたい。ただし、奈良を訪れる多くの観光客は、入江泰吉作品の鑑賞に写真美術館にお越しになるので、そのニーズに応えることも必要と考えている。入江作品と多様な写真作品の展示構成のバランスを考えながら、次年度以降企画していきたい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		指定管理事業 展覧会「入江泰吉 まぼろしの夏」展		担当課 施設名	(入江泰吉記念奈良市写真美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(2) - ④
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成4年度		実施回数	1回
日時	平成28年6月18日～8月4日		会場	入江泰吉記念奈良市写真美術館		
目的	テーマを替えながら一年を通して写真作品を展示し、奈良を訪れる方々に、入江作品をはじめ多様な写真芸術作品を鑑賞していただく。					
内容	「夏」をテーマに、入江泰吉の風景作品の代表作を中心に展示。					
事業費 (円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	500,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	500,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	450,760	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	450,760
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)			有 (回収件数104件/回収率2.6%)			
指標		評価 (10点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	7	観覧者数4,006名/会期中の入館者数8,628名			
	参加者満足度	9	アンケートにて、95%のお客様から概ね「良い」の評価をいただいた。			
	市民参画・協働の成果はあったか					
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	8	入江作品の専門家である当館学芸員が中心に企画し、入江泰吉氏の弟子の方々の意見を取り入れ、展示構成に反映できた。			
	ターゲットは適切に絞れたか	7	写真美術館にご来館いただける客層である入江泰吉ファン、写真愛好者、観光客等にターゲットとしたところ、一定の効果が得られた。			
総合評価 (自動計算)		8				
参加者や協働相手からの意見		*奈良の夏、なつかしい気持ちになりじーんときました。素晴らしいところで生まれ育ったことを嬉しく思います。 *入江氏のコレクションからテーマに合う作品が選ばれていてよかった。 (アンケートより)				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	開館以来、テーマを設け入江泰吉作品を展示してきた。今回は「夏」をテーマに作品を紹介。例年、梅雨の時期や猛暑が続く真夏は客足が遠退くが、入江作品では数少ない「夏」の作品が多く出品されたので、お客様の満足度が高かった。			ここ数年は、入江泰吉作品のみの写真展を開催してきたが、「奈良大和路」をテーマに他分野の芸術作品とのコラボレーション展を開催し、集客につとめたい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		指定管理事業 展覧会「浅田政志 ほぼ家族。」展		担当課 施設名	(入江泰吉記念奈良市写真美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(2) - ①
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成4年度	実施回数	1回	
日時	平成28年6月18日～8月4日			会場	入江泰吉記念奈良市写真美術館	
目的	テーマを替えながら一年を通して写真作品を展示し、奈良を訪れる方々に、入江作品をはじめ多様な写真芸術作品を鑑賞していただく。					
内容	現在国内で活躍する若手写真家の代表的な存在といえる浅田政志の写真展。「家族」をテーマに展示構成し、家族愛や地域との絆をより一層深めていただく内容で実施。					
事業費 (円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	800,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	800,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	716,683	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	400,000	支出	1,116,683
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				有 (回収件数88件/回収率3.5%)		
指標		評価 (10点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	7	観覧者数2,882名/会期中の入館者数5,418名			
	参加者満足度	9	アンケートにて、95%のお客様から概ね「良い」の評価をいただいた。			
	市民参画・協働の成果はあったか	8	トークショーや浅田氏指導の写真講座等のイベントを開催し、多くの市民に参加していただくことで、協働の成果を得られた。			
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	8	日本の写真界をこれから担っていく若手実力写真家を招聘することで、日本最先端の写真展を開催することができた。			
	ターゲットは適切に絞れたか	7	家族や若い世代をターゲットとしたところ、一定の効果が得られた。			
総合評価 (自動計算)		8				
参加者や協働相手からの意見		*浅田さんのトークショーに参加し、聞かせていただきました。とても面白かったです。 *「ほぼ家族。」展がとてもよかったです。どの作品もユーモアと明るさがあり、幸せな気持ちになりました。 (アンケートより)				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	若手写真家で日本を代表する写真家を招聘したことで、全国から注目される展覧会となった。また若い世代に受け入れていただき、高い評価を得られた。			今回、「浅田政志展」を開催したことで、あきらかに客層に変化があった。若い世代のお客様や今まで写真美術館を訪れたことのなかったお客様にご来場いただけたので、若い世代をターゲットとした展覧会は次年度以降も継続して開催していきたい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名	指定管理事業 展覧会「それぞれの時・大阪 ～森山大道・入江泰吉・百々俊二～」展			担当課 施設名	(入江泰吉記念奈良市写真美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2) - ①	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成4年度	実施回数	1回	
日時	平成28年9月3日～10月30日		会場	入江泰吉記念奈良市写真美術館		
目的	テーマを替えながら一年を通して写真作品を展示し、奈良を訪れる方々に、入江作品をはじめ多様な写真芸術作品を鑑賞していただく。					
内容	「大阪」をテーマにした3名の写真家（入江泰吉、森山大道、百々俊二）によるコラボ展示。					
事業費（円）						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	3,000,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	3,000,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	2,988,702	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	2,988,702
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)			有 (回収件数51件/回収率1.45%)			
指標		評価 (10点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	6	観覧者数3,507名/会期中の入館者数6,968名			
	参加者満足度	8	アンケートにて、84%のお客様から概ね「良い」の評価をいただいた。			
	市民参画・協働の成果はあったか	8	作家によるトークショー等のイベントを開催し、多くの市民に参加していただくことで、協働の成果を得られた。			
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	8	世界で活躍する写真家を招聘することで世界レベルの展覧会が開催できた。			
	ターゲットは適切に絞れたか	7	写真愛好家をターゲットにしたところ、一定の効果が得られた。特に若い世代の写真家を目指す学生等が増えた。			
総合評価 (自動計算)		7				
参加者や協働相手からの意見		【協働相手（出品作家）の意見】 奈良で育ったので、入江さんの写真美術館で展覧会を開催することができて感動している。写真家として素晴らしい経験であった。これからもいろいろな写真家の展覧会を企画していただきたい。				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	世界的写真家である森山大道氏を招聘したことで、全国的に注目を浴びた。写真芸術を専門とする美術館として一定の評価を得た。			日本の写真界を世界レベルで牽引する写真家の展覧会は費用もかかるが、比例して広報効果も高い。次年度以降もそういった世界レベルの写真展を開催できるよう予算を確保し、写真専門の美術館であるという意義を確立していきたい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名	指定管理事業 展覧会「入江泰吉 春日大社とおん祭」展			担当課 施設名	(入江泰吉記念奈良市写真美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(2) - ④
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成4年度		実施回数	1回
日時	平成28年11月3日～平成29年1月22日		会場	入江泰吉記念奈良市写真美術館		
目的	テーマを替えながら一年を通して写真作品を展示し、奈良を訪れる方々に、入江作品をはじめ多様な写真芸術作品を鑑賞していただく。					
内容	春日大社の第六十次式年造替記念として「入江泰吉 春日大社とおん祭」を開催。					
事業費 (円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	500,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	500,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	866,994	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	866,994
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				有 (回収件数50件/回収率1.2%)		
指標			評価 (10点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		7	観覧者数4,245名/会期中の入館者数8,099名		
	参加者満足度		9	アンケートにて、98%のお客様から概ね「良い」の評価をいただいた。		
	市民参画・協働の成果はあったか		7	春日大社の記念事業の一環として開催したため協働効果を得られた。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		8	入江作品の専門家である当館学芸員が中心に企画し、入江泰吉氏の弟子の方々の意見を取り入れ、展示構成に反映できた。		
	ターゲットは適切に絞れたか		7	20年に一度の春日大社式年造替のため奈良訪れる方々をターゲットとしたところ、一定の効果が得られた。		
総合評価 (自動計算)			8			
参加者や協働相手からの意見			*春日大社をテーマにしていたところが、記念事業と一環して良かった。 *入江作品の良さを再認識できた。とても素晴らしい作品群であった。 (アンケートより)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	国文祭・陣文祭なら大会のプレシーズンであり、春日大社式年造替記念事業が開催されるなど奈良の文化芸術への関心が高まっている中、入江泰吉作品展を開催することで作品の素晴らしさを再認識していただくことができた。また、入江泰吉氏の功績の顕彰につながった。			国文祭・陣文祭なら大会の本シーズンになるので、「奈良」をテーマに入江泰吉をはじめ、国内外で活躍する実力写真家の写真展を開催し、文化祭を盛り上げたい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		指定管理事業 展覧会「入江泰吉 大和路」展		担当課 施設名	(入江泰吉記念奈良市写真美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(2) - ④
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成4年度	実施回数	1回	
日時	平成29年2月7日～4月9日			会場	入江泰吉記念奈良市写真美術館	
目的	テーマを替えながら一年を通して写真作品を展示し、奈良を訪れる方々に、入江作品をはじめ多様な写真芸術作品を鑑賞していただく。					
内容	入江泰吉の出世作である写真集「大和路」をテーマに開催。					
事業費 (円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	500,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	500,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	193,564	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	193,564
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				有 (回収件数40件/回収率1.1%)		
指標			評価 (10点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		7	観覧者数3,705名/会期中の入館者数6,969名		
	参加者満足度		8	アンケートにて、85%のお客様から概ね「良い」の評価をいただいた。		
	市民参画・協働の成果はあったか					
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		8	当館学芸員が中心に企画し、入江泰吉氏の弟子の方々の意見を取り入れ、展示構成に反映した。		
	ターゲットは適切に絞れたか		7	写真美術館にご来館いただける客層である入江泰吉ファン、写真愛好者、観光客等にターゲットとしたところ、一定の効果が得られた。		
総合評価 (自動計算)			8			
参加者や協働相手からの意見			*入江さんの初期のモノクローム写真もとても素晴らしい。 *併催の入江泰吉記念写真賞のPRや入江氏を顕彰する意味でも素晴らしい展覧会であった。 (アンケートより)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	第2回入江泰吉記念写真賞受賞作品展に併せて「入江泰吉 大和路」展を開催した。入江泰吉の原点をご覧いただくことで、入江泰吉記念写真賞の開催意義の周知や入江泰吉の顕彰につながった。			2年に一度の開催の入江泰吉記念写真賞に併せて、入江泰吉を顕彰する展覧会を開催していく。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		自主事業 高畑デジタル写真倶楽部		担当課 施設名	(入江泰吉記念奈良市写真美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(1) - ①
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成18年度		実施回数	48回
日時	平成28年4月～平成29年3月		会場	入江泰吉記念奈良市写真美術館		
目的	写真文化の普及と発展を目的に開催する。					
内容	近年普及が拡大しているデジタルカメラを専門とする講座。基礎から撮影、表現法などを学んでいただく。					
事業費 (円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	600,000	支出	600,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	675,000	支出	675,000
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無		
指標		評価 (10点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	7	定員144名に対し、応募者が174名 (倍率1.2)			
	参加者満足度	8	写真やカメラの基礎から撮影、表現法まで年間を通して学べることから参加者の評価が高い。			
	市民参画・協働の成果はあったか					
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	8	当館技術員による専門的な講義、指導ができています。			
	ターゲットは適切に絞れたか	8	中高年以上の写真愛好家をターゲットとしているが、今後は若年層の参加も期待したい。			
総合評価 (自動計算)		8				
参加者や協働相手からの意見		* 毎回写真の講評会があり、とても楽しく勉強になる。 * ホームページ上で優秀作品が発表されるのは、励みになるのでとても良い。 (受講者の声より)				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	中高年層の写真愛好家が増えており、それらをターゲットとすることで多くの参加者が見込める。また、専門技術員の的確な講義、指導で一定の評価を得られた。			毎年応募多数のため定員オーバーとなり抽選になるので、講座を増やすなどを検討したい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名	自主事業 夏休み親子で作るピンホールカメラ教室			担当課 施設名	(入江泰吉記念奈良市写真美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(8) - ①
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発	継続	事業開始年		実施回数	1回
日時	平成28年7月30日～31日			会場	入江泰吉記念奈良市写真美術館	
目的	写真文化の普及と発展を目的に開催する。					
内容	小学生をターゲットに写真の歴史、文化を学んでいただき、手作りカメラの制作、暗室での現像作業を体験していただく。					
事業費 (円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	8,000	支出	8,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	9,235	支出	9,235
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無		
指標		評価 (10点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	7	親子18組 (合計35名) (昨年より増加)			
	参加者満足度	8	手作りカメラでの撮影や暗室作業など、初めての経験が高い満足度つながっている。			
	市民参画・協働の成果はあったか					
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	8	当館学芸員および技術員による専門的な講義、指導ができています。			
	ターゲットは適切に絞れたか	8	夏休みに開催することで、親子での参加につながられた。			
総合評価 (自動計算)		8				
参加者や協働相手からの意見		* 手作りカメラや暗室作業ができてとてもおもしろかった。 * 暗室作業で浮かび上がってくる写真に感動した。 (受講者の声より)				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	デジタルカメラが普及するなか、手作りカメラの制作や暗室での現像作業など、普段経験することのできないことを提供でき、写真文化の普及と発展につながられた。			暗室用品やカメラの素材を入手することが困難になってきたので、今後どれだけコストを削減しながらピンホールカメラを実施していくかが課題であるが、写真文化の裾野を広げる意味ではとても意義のある講座であるので、今後も変わらず楽しく写真文化を子供達に伝えていきたい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		自主事業 高畑探検隊15		担当課 施設名	(入江泰吉記念奈良市写真美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(8) - ①
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発	継続	事業開始年	平成13年度	実施回数	1回
日時	平成28年8月22日 9時～正午			会場	入江泰吉記念奈良市写真美術館	
目的	写真文化の普及や発展のみならず、夏休みの子供向け事業として写真美術館が位置する奈良公園界隈の自然について学んでいただくことを目的とする。					
内容	高畑界隈から奈良公園の生態系について学んでいただく。					
事業費 (円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	27,000	支出	27,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	23,718	支出	23,718
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無		
指標		評価 (10点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	6	参加者42名 (例年に等しい)			
	参加者満足度	7	人気講師の楽しくわかりやすい解説で高い満足度を得ている。			
	市民参画・協働の成果はあったか	7	鹿愛護協会の協力を得て、奈良公園の鹿の生態についても知る事ができた。			
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	10	日本随一の専門家で全国的に著名な講師を招聘することができた。			
	ターゲットは適切に絞れたか	8	夏休みに開催することで、親子での参加につながられた。			
総合評価 (自動計算)		8				
参加者や協働相手からの意見		【協働相手 (講師) の意見】 20年近く本事業の講師をつとめているが、どの年も子供達の反応は変わらず真剣で興味をもって参加していることが素晴らしい。身近にある自然を知ること、環境への意識が高まり今後の生活につながっていくと考えている。				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	小学生を中心に写真美術館を周知する事業として開催している。写真美術館が位置する奈良公園の自然を観察することで、その生態系について学んでいただけた。			写真関連の事業のみならず、違うアプローチの講座を開催して写真美術館を知ってもらい、将来の誘客に繋げていきたい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		入江泰吉記念写真賞・なら PHOTO CONTEST		担当課 施設名	(入江泰吉記念奈良市写真美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(18) - ①
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続		事業開始年	平成26年度	実施回数	1回
日時	通年			会場	入江泰吉記念奈良市写真美術館他	
目的	「日本人の心のふるさと」と言われる奈良大和路を約半世紀にわたって撮り続け、大和の景観を心象風景としてとらえ続けてきた写真家・入江泰吉の文化・芸術への功績を記念し、奈良大和路から日本文化の美と心を発信するとともに、歴史的景観を後世へ守り伝える。					
内容	入江泰吉記念写真賞は、未来そして世界に向けてのメッセージとして「写真集」を製作し、私たちの心に深く記憶される普遍的な生の眼差しを持った写真の作り手を支援するために開催。 ならPHOTO CONTESTは、より多くの方々に参加いただけるよう「大和は国のまほろば」をテーマに単または組写真を募集。					
事業費 (円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	3,800,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	1,010,000	支出	4,810,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	3,800,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	1,010,000	支出	4,810,000
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無		
指標		評価 (10点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	7	入江泰吉写真賞は101件、ならPHOTO CONTESTはくカテゴリ-1>に424件、<カテゴリ-2>に272件の応募があり、充分な参加があったと考えられる。			
	参加者満足度	7	応募数、展覧会の観覧者数から、一定の満足度が得られていると考えられる。			
	市民参画・協働の成果はあったか	8	写真界を中心に、各界の著名識者を実行委員会や審査員に招聘し、企画運営等に参画していただくことで大きな成果を得られた。			
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	8	写真会を中心に、世界規模で活躍する専門家を招聘することができた。			
	ターゲットは適切に絞れたか	8	2つの写真賞を設けることで、ターゲットを明確に絞ることができた。			
総合評価 (自動計算)		8				
参加者や協働相手からの意見		素晴らしい作品が多数応募され、その中から選ばれた受賞作はとても価値のあるものと感じた。本賞を継続し、国内有数の写真賞に育ててもらいたいと願う。				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	入江泰吉記念写真賞は写真美術館で展覧会の開催や写真集の販売を行い、好評を得た。 ならPHOTO CONTESTは写真美術館で展覧会の開催や受賞作品を観光PRに活用するなど広報に効果が得られた。			今回の事業を引き継ぎながらも、新たな事業展開を目指すため実行委員会を刷新を検討する。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		自主事業 その他事業 a.アトリエ開放（全2回） b.写真集を旅する午後（全2回） c.「祈りの美展への誘い」（全1回）		担当課 施設名	（ 文化振興課 入江泰吉旧居 ）	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(16) -②	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続		事業開始年	平成28年度	実施回数	2回
日時	平成28年4月～平成29年3月		会場	入江泰吉旧居		
目的	奈良大和路の写真家・入江泰吉を顕彰し旧居の保存活用をはかるため、アトリエを開放、写真集の閲覧など入江の居住空間、入江泰吉の理解を深めていただく。					
内容	a.普段は立ち入り禁止のアトリエ部分に入っただき、入江泰吉の理解を深める。あわせてスタッフ立会いのもと、記念撮影も可とする。春（4月29日～5月1日、3日間）、秋（9月17日～19日、3日間）と2回実施。 b.生前、出版した写真集を閲覧し入江作品の理解を深める。 c.奈良県立美術館と連携し入江と交流のあった杉本健吉を紹介。					
事業費（円）						
			歳入		歳出	
予算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	0	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	0	0	
決算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	0	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	0	0	
事業成果						
アンケート等実施の有無 （アンケート等はできるだけ実施してください。 実施の場合、回収件数・回収率等を記入）			無			
			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 （10点満点）	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	5	a. 180名に対し85名（47%） / b. 20名に対し4名（20%） c. 20名に対し9名（45%） 目標値： 180名 実績値： 85名			
	顧客満足度	6	入江泰吉の理解を深める機会を提供できたと思われる。			
	市民参画・協働の成果はあったか	6	居住空間をとおして、入江の考えや大和路に対する思いを伝えることができたのではと考えて			
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	6	旧居のコーディネータが担当。			
	ターゲットは適切に絞れたか	6	入江ファン、奈良好きな人を対象としている。			
総合評価（自動計算）		6				
参加者や協働相手からの意見		（参加者） ＊居住空間がとても素敵でした。 ＊絶版になっている写真集を拝見できてよかった。 （協働者） 奈良県立美術館で開催している「祈りの美」展にあわせて、入江泰吉と親交のあった画家・杉本健吉を取り上げたことは良かったと思われる。他館と連携し広報に努めたい。				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	入江泰吉の居住空間から大和路に対する思いや撮影姿勢が実感できる試みだったのでと思われる。また奈良県立美術館と連携し入江と親交のあった画家・杉本健吉を取り上げ紹介できたことは良かったと考えている。			訪れる方には満足していただけているが、参加人数が伸びていない。入江旧居の周知の徹底と事業の充実をはかりたい。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		自主事業 モノクロプリント講座（全2回）		担当課 施設名	（ 文化振興課 入江泰吉旧居 ）	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(1)-①
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続		事業開始年	平成28年度	実施回数	2回
日時	平成28年5月、7月			会場	入江泰吉旧居	
目的	奈良大和路の写真家・入江泰吉を顕彰し旧居の保存活用をはかるとともに、写真文化の普及と発展を目的に開催する。					
内容	モノクロプリント講座。旧居の暗室を使ってモノクロプリントの制作から額装作業まで指導する。					
事業費（円）						
				歳入		歳出
予算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	0	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	12,000	12,000	
決算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	0	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	30,000	30,000	
事業成果						
アンケート等実施の有無 （アンケート等はできるだけ実施してください。 実施の場合、回収件数・回収率等を記入）				無		
				配布数：	回収数：	回収率：
指標		評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	4	年2回、開催。定員（各6名）12名に対し、受講者3名（2.5%） 目標値： 12名 実績値： 3名			
	顧客満足度	8	暗室作業から額装作業まで、作品づくりのノウハウを提供できたと思われる。			
	市民参画・協働の成果はあったか	8	写真美術館・技術員による指導			
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	8	写真美術館技術員の指導の下、1枚の作品に仕上げるまで丁寧な指導した。			
	ターゲットは適切に絞れたか	8	写真好きな方を対象とした。			
総合評価（自動計算）		7				
参加者や協働相手からの意見		（参加者） ＊入江泰吉が使用していた暗室での作業は格別だった。 ＊暗室作業する機会がないため、このような事業はとても良かった。 ＊暗室作業から額装作業まで、作品制作の行程を学べて大変良かった。 （協働者） 暗室自体が広くないため、2～3名程度しか丁寧な対応はできないと思われる。				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	暗室作業での体験は、写真の魅力を広げるとともに写真文化の発展につながると思われる。			参加費が少し高いこともあり参加者は少なかったが、かえて丁寧な対応はできたと思われる。また暗室作業においては2～3名程度しか十分な対応ができないことも分かった。今後は内容を精査し対応したい。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		自主事業 入江作品から観る、奈良と文楽の魅力（全4回）		担当課 施設名	（ 文化振興課 入江泰吉旧居 ）	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1) -③	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続		事業開始年	平成28年度	実施回数	4回
日時	平成28年9月～12月			会場	入江泰吉旧居	
目的	奈良大和路の写真家・入江泰吉を顕彰するとともに、入江作品（文楽）をとおして奈良の新しい魅力を発掘、発信するため。					
内容	入江の文楽作品をとおして、文楽及び奈良の魅力を探る。入江の文楽作品の解説、文楽講座、文楽の演目の舞台である奈良を散策、撮影しながら、理解を深めていく。					
事業費（円）						
			歳入		歳出	
予算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	0	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	0	0	
決算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	0	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	181,502	181,502	
事業成果						
アンケート等実施の有無 （アンケート等はできるだけ実施してください。 実施の場合、回収件数・回収率等を記入）			無			
			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 （10点満点）	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	4	定員70名に対し、受講者31名（44.3%） 目標値： 70名 実績値： 31名			
	顧客満足度	7	文楽の好きな人、または写真に興味のある方にとっては満足していただけたと思われる。			
	市民参画・協働の成果はあったか	8	馴染みの少ない文楽を取り上げ講師を招き、奈良との関わりが深いことが十分に理解できたこと			
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	8	文楽研究家の高木氏をはじめ、現在活躍している写真家を招いて撮影指導を行う。			
	ターゲットは適切に絞れたか	8	奈良の歴史文化や文楽に興味を持っている人を対象とした。			
総合評価（自動計算）		7				
参加者や協働相手からの意見		<p>（参加者） * 文楽の演目、浄瑠璃が奈良を舞台にしたものが多いことを初めて知った。 * 入江泰吉の出世作、文楽のことを初めて知り良かった。</p> <p>（協働者） 文楽を知らない方でも分かる講座や現在活躍している写真家を招いての撮影会など、内容的には充実している。まだまだ奈良では文楽との関わりが分かりにくい部分があり地道に周知する必要がある。</p>				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	奈良県の新たな文化活動チャレンジ補助金事業。写真美術館の展覧会に合わせたこと、また入江の初期の出世作・文楽と奈良を結び新たな魅力を発掘するために開催。内容的には、新たな奈良の魅力を発掘する良い機会となったが、なかなか結果につながらなかった。一言でいえば、広報が不十分であり事業の周知が思うようにいかなかったことが一因と思われる。			文楽と奈良との関わりをつなげるには入江作品が重要と考える。今後は、入江の文楽作品をはじめ広報戦略を十分に練っていかねばと思われる。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		自主事業 入江泰吉旧居で、はじめの一句（全6回）		担当課 施設名	（ 文化振興課 入江泰吉旧居 ）	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(1) -①
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続		事業開始年	平成28年度	実施回数	6回
日時	平成28年5月～平成29年3月			会場	入江泰吉旧居	
目的	奈良大和路の写真家・入江泰吉を顕彰し旧居の保存活用をはかるため、俳句をとおして奈良の四季を感じていただき、文化振興に努める。					
内容	初心者向けに俳句作りをレクチャーを行い、実作と添削を行う。指導はNPO法人文化創造アルカ・倉橋氏。					
事業費（円）						
				歳入		歳出
予算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	0	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	40,000	40,000	
決算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	0	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	39,000	39,000	
事業成果						
アンケート等実施の有無 （アンケート等はできるだけ実施してください。 実施の場合、回収件数・回収率等を記入）				無		
				配布数：	回収数：	回収率：
指標		評価 （10点満点）	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	7	年6回、開催。定員（各10名）60名に対し、受講者39名（65%） 目標値： 60名 実績値： 39名			
	顧客満足度	8	旧居の静かな佇まいを使って、日本の四季を感じる機会を提供できたと思われる。			
	市民参画・協働の成果はあったか	8	旧居の風情ある空間を知っていただく機会を提供できたと思われる。			
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	8	旧居のコーディネータが担当。			
	ターゲットは適切に絞れたか	8	奈良の文学に興味を持っている方を対象とした。			
総合評価（自動計算）		8				
参加者や協働相手からの意見		（参加者） ＊入江泰吉のお住まいで学べるのはよかった。 ＊旧居での佇まいから四季の移ろいを感じとることができた。 （協働者） 旧居の魅力を知っていただく良い機会だと考えている。				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	入江泰吉旧居の魅力を広く周知するため、その魅力を俳句をとおして感じていただく試みである。また旧居の空間と静かな佇まいから日本の文化を見つめなおす良い機会でもありと考えている。			季節によって参加者のバラツキが見られる。広報の周知と参加者の新規開拓、事業の充実をはかりたい。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		自主事業 行事を語る 伝統行事と入江泰吉（全4回）		担当課 施設名	（ 文化振興課 入江泰吉旧居 ）	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(4) -④
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続		事業開始年	平成28年度	実施回数	4回
日時	平成28年5月、12月、平成29年1月、3月			会場	入江泰吉旧居	
目的	奈良大和路の写真家・入江泰吉を顕彰し、入江作品から奈良の伝統行事を探り、奈良の文化振興に努める。					
内容	奈良の伝統行事を紹介するため、それに関わる人を講師に招き行事の内容や意味について講義する。薪御能・石原昌和氏、奈良民俗文化研究所代表・鹿谷 勲氏、若草山焼実行委員・中西康博氏、東大寺三役・堀池春慶師、を招き話を伺った。					
事業費（円）						
			歳入		歳出	
予算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	0	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	12,000	12,000	
決算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	0	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	30,000	30,000	
事業成果						
アンケート等実施の有無 （アンケート等はできるだけ実施してください。 実施の場合、回収件数・回収率等を記入）			無			
			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	8	年4回、開催。定員（各20名）80名に対し、受講者60名（75%） 目標値： 80名 実績値： 60名			
	顧客満足度	8	奈良の伝統行事のことを深く知る機会を提供できたと思われる。			
	市民参画・協働の成果はあったか	8	奈良の伝統行事の理解を深めることができたと考えている。			
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	8	伝統行事に携わる人を招き、理解を深められるよう努めている。			
	ターゲットは適切に絞れたか	8	来館する奈良好きな人をターゲットとしている。			
総合評価（自動計算）		8				
参加者や協働相手からの意見		（参加者） *伝統行事のおこり、ねらい、など良く分かった。 *お水取りは松明だけかと思っていたが、堂内で様々な祈りをしていることを知った。 （協働者） 奈良で伝統行事が行われているが、本来の意味やねらいが分かっている方は少ない。奈良の文化普及につながる機会だと考えている。				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	旧居で奈良の歴史文化を学ぶ良い機会を提供でき、奈良の文化発展につながると思われる。			年4回の開催で奈良の伝統行事を取り上げている。取り上げる行事によって参加者のバラツキが見られることから、連携協力、もしくは事業の充実をはかり広報に努めたい。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		自主事業 お抹茶でひとやすみ（全2回）		担当課 施設名	（ 文化振興課 入江泰吉旧居 ）	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2)-①	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続		事業開始年	平成28年度	実施回数	2回
日時	平成28年4月、5月			会場	入江泰吉旧居	
目的	奈良大和路の写真家・入江泰吉を顕彰し、旧居を保存活用するため、抹茶で来館者をもてなす。入江の撮影拠点である居住空間から功績を偲ぶ。					
内容	日本家屋の風情あるたたすまいから入江泰吉を偲ぶため、抹茶と茶菓子を有料で提供。					
事業費（円）						
				歳入		歳出
予算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	0	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	40,000	40,000	
決算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	0	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	22,000	22,000	
事業成果						
アンケート等実施の有無 （アンケート等はできるだけ実施してください。 実施の場合、回収件数・回収率等を記入）				無		
				配布数：	回収数：	回収率：
指標		評価 （10点満点）	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	9	年2回、実施。定員（各20名）40名に対し、受講者44名 目標値： 40名 実績値： 44名			
	顧客満足度	9	入江旧居の風情あるたたすまいで提供する抹茶は好評であった。			
	市民参画・協働の成果はあったか	7	旧居のたたすまいの良さが再認識されたと思われる。			
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	7	旧居のスタッフが抹茶の提供に向けて、作法や入れ方を練習、当日に備えた。			
	ターゲットは適切に絞れたか	8	旧居の見どころをアピールするため、奈良がにぎわう桜の咲くころと大型連休の中日を選び実施			
総合評価（自動計算）		8				
参加者や協働相手からの意見		（参加者） ＊落ち着いた空間がとても気に入りました。 ＊心地よい住まいとは、こういう事なのだと感じさせていただきました。 （協働者） 入江泰吉の住まいの良さを体感できたのではないかとと思われる。				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	入江泰吉の風情あるたたすまいを紹介することができたと思われる。そして旧居の和風建築、窓から見える草花、茶道（抹茶）など、日本の四季と文化を知っていただく機会を提供できた。			旧居を通して、日本文化を知っていただく良い機会だと考えている。もてなす、ことを考えつつ事業の充実をはかりたい。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		自主事業 今昔ツアー（全2回）		担当課 施設名	（ 文化振興課 入江泰吉旧居 ）	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(12)-①
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続		事業開始年	平成28年度	実施回数	2回
日時	平成28年7月、8月			会場	奈良公園 他	
目的	奈良大和路の写真家・入江泰吉を顕彰するとともに、入江作品を使って奈良の歴史文化を探る。					
内容	東大寺や興福寺、奈良公園内を散策し、写真に写された今と昔を巡る。解説はNPO法人文化創造アルカ・倉橋氏。					
事業費（円）						
				歳入		歳出
予算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	0	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	8,000	8,000	
決算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	0	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	1,600	1,600	
事業成果						
アンケート等実施の有無 （アンケート等はできるだけ実施してください。 実施の場合、回収件数・回収率等を記入）				無		
				配布数：	回収数：	回収率：
指標		評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	4	2回、開催。定員（各10名）20名に対し、受講者8名（40%） 目標値： 20名 実績値： 8名			
	顧客満足度	7	奈良の今と昔を知る良い機会だと考えている。			
	市民参画・協働の成果はあったか	6	奈良の移り変わりを紹介することで奈良に対する文化を育むことができた。			
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	6	旧居のコーディネーターが担当し、奈良を案内。			
	ターゲットは適切に絞れたか	4	夏休みを利用し、親子の参加を促した。			
総合評価（自動計算）		5				
参加者や協働相手からの意見		（参加者） *奈良の風景も変わっていないようで、随分変わったことが分かった。 （協働者） 子供の参加を見越して、事業は午前中だけにした。奈良の風景の移ろいを知っていただく良い機会と考えている。				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	入江泰吉の昭和20年から30年代の奈良の風景写真をおとして、風景の移り変わりや奈良の文化について散策しながら解説。入江作品を通して奈良の文化発展につなげられている。			夏休みを利用し子供たちの参加を期待したが少なかった。また参加人数も集まらず内容が伝わりきらなかったのではないかと思われる。広報の周知に努める。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		自主事業 入江泰吉さんぼみち（全12回）		担当課 施設名	（ 文化振興課 入江泰吉旧居 ）	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(16) - ②
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続		事業開始年	平成27年度	実施回数	12回
日時	平成28年4月～平成29年3月（毎月1回）			会場	東大寺境内	
目的	奈良大和路の写真家・入江泰吉を顕彰するとともに、入江の撮影場所を散策、入江作品の理解を深め、奈良の文化を育む。					
内容	東大寺境内で、入江泰吉の撮影スポットを散策し、NPO法人文化創造アルカ・石井氏が解説する。					
事業費（円）						
				歳入		歳出
予算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	0	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	8,000	8,000	
決算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	0	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	8,400	8,400	
事業成果						
アンケート等実施の有無 （アンケート等はできるだけ実施してください。 実施の場合、回収件数・回収率等を記入）				無		
				配布数：	回収数：	回収率：
指標		評価 （10点満点）	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	4	毎月開催、12回。定員（各10名）120名に対し、受講者42名（35%） 目標値： 120名 実績値： 42名			
	顧客満足度	7	入江作品を通して、奈良の魅力が伝わったと考える。			
	市民参画・協働の成果はあったか	6	入江が撮影した場所を散策することで、奈良に対する理解を深める。			
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	6	旧居のコーディネーターが担当、入江の思いを伝えている。			
	ターゲットは適切に絞れたか	7	奈良に訪れる人を対象			
総合評価（自動計算）		6				
参加者や協働相手からの意見		（参加者） ＊入江泰吉が撮っていた風景と現在とは変わってしまったことに驚いた。 ＊東大寺の見どころがよくわかった。 （協働者） 入江作品の撮影スポットだけではなく、現在の撮影スポットなども案内している。				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	入江泰吉を顕彰するにあたり、入江の撮影場所を訪れることは、より入江や作品に対する理解を深める良い機会だと考えている。奈良の文化発展にもつながる。			旧居を出て郊外、東大寺境内を散策するにあたり、参加者に保険をかけている。参加人数が定員割れの時期もあり事業の収支バランスが悪い状態になっている。今後、広報に努める一方で、回数を減らす、事業内容を見直すなど考慮したい。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		自主事業 入江泰吉の「ことば」を学ぶ（全6回）		担当課 施設名	（ 文化振興課 入江泰吉旧居 ）	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(16)－②	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続		事業開始年	平成27年度	実施回数	6回
日時	平成28年4月～平成29年2月		会場	入江泰吉旧居		
目的	奈良大和路の写真家・入江泰吉を顕彰するとともに、入江の考え、思いをとおして奈良の文化を育む良い機会とするため。					
内容	写真家・入江泰吉が残した書籍（『入江泰吉自伝～「大和路」に魅せられて』（佼成出版社 1993年）から一節を取り上げて、NPO法人文化創造アルカ・倉橋氏が朗読、解説する。					
事業費（円）						
			歳入		歳出	
予算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	0	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	36,000	36,000	
決算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	0	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	0	0	
事業成果						
アンケート等実施の有無 （アンケート等はできるだけ実施してください。 実施の場合、回収件数・回収率等を記入）			無			
			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 （10点満点）	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	4	年に6回開催。定員（各10名）60名に対し、受講者26名（43%） 目標値： 60名 実績値： 26名			
	顧客満足度	7	入江泰吉の大和路に対する思いを伝える良い機会と考えている。			
	市民参画・協働の成果はあったか	6	旧居の静かなたたずまいのなかで、入江の思いに触れる機会になったと考える。			
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	7	旧居のコーディネーターが担当、入江の思いを伝えている。			
	ターゲットは適切に絞れたか	6	奈良を訪れる人をターゲットに開催。			
総合評価（自動計算）		6				
参加者や協働相手からの意見		（参加者） ＊入江泰吉の大和路に対する思いがよくわかった。 ＊静かなたたずまいのなかで入江さんを感じることができた。 （協働者） 静かなたたずまいの中で、入江泰吉を知っていただく良い機会と思われる。				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	旧居を活用して、入江泰吉の大和路に対する思いに触れる良い機会と考えており、奈良の文化発展に地道ではあるがつつながっている。			入館者数の落ち込みとともに参加者数も減っている。広報の周知をはかるとともに、事業の充実をはかりたい。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		自主事業 入江泰吉を語り継ぐ（全6回）		担当課 施設名	（ 文化振興課 入江泰吉旧居 ）	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(16) - ②
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続		事業開始年	平成27年度	実施回数	6回
日時	平成28年5月～平成29年3月			会場	入江泰吉旧居	
目的	奈良大和路の写真家・入江泰吉を顕彰するとともに、入江の考え、思いをとおして奈良の文化を育む良い機会とするため。					
内容	入江泰吉のゆかりの人々から、入江の思い出を語っていただく。今回は水門町と東大寺の人々編とし、五風舎・山本泉氏、浄国院住職・松谷光悦師、「naranto」編集長・林忠厚氏、森奈良漬店・森 茂氏、東大寺住職・上司永て照師、喫茶「しろあむ」店主・池 清美氏から話を伺った。					
事業費（円）						
				歳入		歳出
予算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	0	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	36,000	36,000	
決算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	0	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	0	0	
事業成果						
アンケート等実施の有無 （アンケート等はできるだけ実施してください。 実施の場合、回収件数・回収率等を記入）				無		
				配布数：	回収数：	回収率：
指標		評価 （10点満点）	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	8	年に6回開催。定員（各20名）120名に対し、受講者105名（87.5%） 目標値： 120名 実績値： 105名			
	顧客満足度	8	入江泰吉の人柄、奈良への思いなど知っていただく良い機会だと考える。			
	市民参画・協働の成果はあったか	8	入江作品のみならず、入江の人なりを知っていただけたと思われる。			
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	8	毎回、入江と交流のあった人を招いて開催している。			
	ターゲットは適切に絞れたか	7	奈良を好きな人をターゲットに2か月毎に開催、周知に努めている。			
総合評価（自動計算）		8				
参加者や協働相手からの意見		（参加者） ＊写真家・入江泰吉の知られざる一面を垣間見ることができてよかった。 ＊入江泰吉の人柄がわかり身近に感じられた。 （協働者） 入江泰吉を知っている方が、年々少なくなってきた中で、交流のあった人たちが生前の思い出やエピソードを拝聴できるのは良い機会である。				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	入江作品のみならず、入江の人柄や奈良に対する思いを語り継ぐことで、入江泰吉を顕彰するとともに奈良の文化発展に役立てることができる。			参加者された方は、旧居での催しと講話に満足されているが、開催毎に参加者のバラツキがある。広報の周知をはかりたい。		

文化振興計画 事業評価シート平成28年度

事業名		文化サロン 文化講演会・資料展		担当課 施設名	(文化振興課 名勝大乗院庭園文化館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(1)ー②、(10)ー②
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成23年3月	実施回数	7回(年1回)	
日時	文化講演会3月26日、資料展2/27~3/31		会場	当文化館内会議室、展示室		
目的	名勝大乗院庭園の発掘調査と保存整備に長年にわたり尽力いただいた奈良文化財研究所の協力の下に文化サロンを実施して、当庭園の理解度を深め、庭園の発祥地としての奈良の紹介に繋げたい					
内容	文化講演会：「小堀遠州の庭 歴史と伝説の合間に」と題して奈良文化財研究所のマレス・エマニュエル氏に講演をして頂いた。参加者は定員30名のところ40名の応募があり抽選で31名が受講された。資料展：同じく奈良文化財研究所のご協力により、マレス氏作成の「奈良の庭園と森蘊の業績」パネル展(再)を行ない、1800名の方に見ていただいた。					
事業費(円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	10,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	12,000	支出	22,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	4,305	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	12,400	支出	16,705
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				文化講演会：回収数28 90%		
指標			評価 (10点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		9	講演会は定員以上の参加を得た。資料展は1700名を目標として結果1800名の方に見ていただけた。		
	参加者満足度		8	アンケートの講演に対する感想・意見の内容は好評価であった。階下の騒音が気になったとのコメントがあった。		
	市民参画・協働の成果はあったか		9	今回の講演は定員の1.3倍の応募数となった。長年にわたり奈文研に協力頂いていることは大きな成果であり、大変感謝している。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		9	文化資源にとって最先端の調査・研究機関である奈良文化財研究所の研究員が主な担当者となっている		
	ターゲットは適切に絞れたか		7	受講者のエリア別では奈良市内70%、奈良県内奈良市外12%、県外18%となりエリアに広がりがあった。男女別は男性71%、年齢別では65歳以下が36%で偏りは見られた		
総合評価(自動計算)			8			
参加者や協働相手からの意見			アンケートより、8割の方が大変勉強になり、興味深い良い講演だったとの評、他にも特徴ある評価を得て総じて高評価だった。「奈良の庭園と森蘊の業績」資料展は森蘊の調査によって名勝指定された庭園を始め、自ら作庭された庭園の案内により大変興味深い展示となった。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	庭園の一般公開と同時に奈良ホテルが指定管理者となって以降、奈良文化財研究所の協力により年1回の文化サロンが継続開催でき、28年度が7回目となっている。過去の5回の資料展/パネルは当文化館が預かり、年に2回前後再資料展示を行なっている。繰り返し展示の必要がある資料と考えている。過去資料/パネルを作成いただいた担当の方に講演いただいた。今年度は3年前に担当されたマレス氏を招き高評価の再現となった。			この文化サロンは奈良文化財研究所の一時的なご好意によって実現できていると考えている。今後は資料の作成と講演の謝礼費用を値上げできるよう検討を加えたい		

文化振興計画 事業評価シート平成28年度

事業名		各種お茶会の開催・夜間の催し		担当課 施設名	文化振興課 (名勝大乗院庭園文化館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(2)-④、(14)-①
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成22年度		実施回数	茶会年5回前後、夜間の催し燈花会5 回目、観月4回目、大文字観賞2回目
日時	茶会5/15、11/20、8/6、8/7、9/15 夜間の催し 8月6,7燈花会 8月15日大文字 送り火観賞 9/15観月の夕べ		会場	茶会：館内和室、茶室 催し：大乗院庭園内		
目的	庭園と深い関係のお茶会を実施する。当文化館のお茶室を有効に活用する。幻想的な燈花会を庭園に再現する。またいにしへの催しである観月の夕べ、大文字送り火観賞等夜間の庭園公開に繋ぐ					
内容	春と秋の庭園観賞お茶席と燈花会お茶席を開催、合計で予算172名のところ126名が参加された。燈花会：庭内に300個のろうそくを点灯、大池に移り光の景色を造る。今回は2日間で256名、前年より回復するも300は超えない。大文字送り火観賞：今回が2回目ですと夜で100名が入園された。観月の夕べ：天候良く広報も効果がありひと夜でお茶席72名、入園者130名と盛況だった(観月の夕べは主催は庭園管理協議会 当館は共催にて収支は協議会)					
事業費(円)(観月の夕べは除く)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	90,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	87,000	支出	177,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	96,140	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	63,000	支出	159,140
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)						
指標		評価 (10点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	7	夜間催しの内「観月の夕べ」と「大文字観賞」は盛況でしたが、燈花会は前年を上回るも厳しかった。お茶会の併用は観月の夕べと燈花会で実施したが観月は盛況、燈花会は厳しかった			
	参加者満足度	7	天候により参加者数に影響が出てしまうが参加された方からは評判は良いと思う、上記以外に共催事業のボランティア団体・みどり会による無料茶会は春と秋の2回を実施合計目標480人に対し430人が参加した。			
	市民参画・協働の成果はあったか	8	当館主催のお茶会一回当たり8名前後のお茶会運営スタッフに対して1回1万5千円の謝礼で実施できており、みどり会茶会については400人を超えるお客様にお茶を楽しんでいただいております。また夜間の催しについては足もと灯等を設置し多くのスタッフを得て実施している。			
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	8	自主事業のお茶会でお世話になっている方は元奈良茶華道連盟の会長をなされた方にて充分なおもてなしができています。また夜間の催しについては足もと灯等を設置し多くのスタッフを得て実施している。			
	ターゲットは適切に絞れたか	7	観月の夕べについては特に西日本の主要駅にチラシを配置した結果広いエリアから来ていただいていると思う。			
総合評価(自動計算)		7				
参加者や協働相手からの意見		参加するお客様が少なかった燈花会においては8名前後のお茶会運営スタッフに申し訳なかった、特に庭園の夜間事業は天候によって左右することは致し方ない部分でもあるが奈良全体の燈花会のお客様を呼び込めていない、広報で改善を加えていきたい。				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	夜間催しの内、燈花会は天候が良く前年の7割アップとなるも目標の85パーセントどまりとなった。、観月の夕べと大文字送り火は沢山のお客様が参加され盛況であった。			燈花会について奈良全体の燈花会の広報内容に当庭園燈花会を組み込むことができればと思う。		

文化振興計画 事業評価シート平成28年度

事業名		庭園講座・庭園研究講座 (庭園講座2回 庭園研究講座1回)		担当課 施設名	(文化振興課・ 名勝大乗院庭園 文化館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1) -②、④	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成23年	実施回数	庭園講座11、12回 庭園研究講座4回目	
日時	庭園講座5/14、11/19 研究講座10/17		会場	大乗院庭園文化館内		
目的	中世の名勝庭園文化施設として日本の庭園文化を紹介する講座を開催したい、当庭園の理解を深めて誘客を図ると共に新しい庭園研究等の情報を提供して奈良の庭園文化の紹介に繋げたい					
内容	庭園講座：第11回「日本庭園の現場から」～橿原神宮・文華殿庭園の復元～ 受講18名 第12回「日本庭園の現場から・作庭紹介2000年以前」 受講28名 庭園研究講座：「中世日本における境地の概念および庭園との関連」 受講19名					
事業費 (円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	40,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	36,000	支出	76,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	38,053	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	23,200	支出	61,253
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)			第11回講座：回収数14 78% 第12回講座：回収数17 61% 第4回庭園研究講座：回収数11 60%			
指標		評価 (10点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	6	全体で定員の72%に留まった、テーマが専門的なものの応募が少なかった。			
	参加者満足度	7	アンケートの感想・意見の内容に好評価を得ているも回収率が低い点を考慮した。			
	市民参画・協働の成果はあったか	7	各講座に若干の差はあるものの多くの市民から受講希望を頂いている。講師については奈良文化財研究所より協力を得ている。			
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	7	庭園講座は当庭園にゆかりの森羅に関係する方で海外でも活躍されている造園家に講師をお願いしている。庭園研究講座は奈文研の協力の下で主に研究員に講演いただいている			
	ターゲットは適切に絞れたか	7	受講者の男女別では男性73%女性27%例年より若干ダウン。年齢別では65歳以下が38%となっている。想像の範囲と思われるが若い方が増えることも必要と考えます			
総合評価 (自動計算)		7				
参加者や協働相手からの意見		参加者の評価はアンケートの講演に対する感想・ご意見を記入いただいております。その内容は高評価を得ている、また庭園講座については年2回実施して6年間継続今後も継続したい。庭園研究講座は今回で4回目(年1回)、奈良文化財研究所の協力を得て今後に繋げたい。				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	庭園講座は過去6年間の中で応募率が下がった1年となった。テーマあるいは開催日広報等で応募率を上げたい。庭園研究講座は奈良文化財研究所の協力の下、学術面のテーマの下で新しい情報を提供することを目的として今年で4回目となった。庭園文化の新しい発信ができていていると考えています。すべて受講料を300円から400円に上げた。			受講者獲得の為、次回の講座日時等受講時に伝えたい。		

文化振興計画 事業評価シート平成28年度

事業名		庭園・館内コンサートの実施		担当課 施設名	文化振興課 (名勝大乗院庭園文化館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(1) -①、(2) -①、④
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続	事業開始年	平成23年4月	実施回数	年2回	
日時	4月10日(日)、10月1日(土)		会場	エントランスホール、和茶室		
目的	二胡コンサート、フォーク等のコンサート(ジョイントコンサート)等庭園観賞と併せて行う					
内容	今年は春と秋に第7回、8回目となる「湖国(滋賀県)と奈良と…ジョイントコンサート」を開催した。どちらも参加者が多く2回合計で140名のお客様が参加され、聞き入り又共に歌った。					
事業費(円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	32,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	32,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	32,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	32,000
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)						
指標		評価 (10点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	7	1回当たりの目標60人の入場者数に対して、70名の入場者となった。			
	参加者満足度	8	殆んどの方が最後まで参加されて、聴き共に歌い盛況でした。			
	市民参画・協働の成果はあったか	7	企画準備は出演者と館員で行い、ボランティアで1名協力いただく場合がある。出演者は交通費と軽食程度の当館支出に対し、長年大変協力を頂いている。			
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	8	質の確保については滋賀県からのグループは地元の他、広いエリアで活躍され、地元のグループも市内で活動されており、フォークの持つ身近に的々なグループである。			
	ターゲットは適切に絞れたか	7	懐かしさのあるコンサートで予想通り中高年の方が多く、庭に興味をもたれる年齢層でもある。			
総合評価(自動計算)		7				
参加者や協働相手からの意見		参加者、協働相手共に季節それぞれの庭園を観賞しながらのコンサートでありとても楽しんでいる。との声が多い。				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	年2回開催しているジョイントコンサートは今年で4年目を迎え、参加者数は初回より盛況と言え、定着してきた感がある。また奈良県主催の庭園コンサートも毎年開催され、天候にも恵まれ盛況を続けている。また貸室事業のコンサートも継続して開催しており身近な音楽が楽しまれている。			出来ればフルートコンサートを開催できたらと思っています。		

文化振興計画 事業評価シート平成28年度

事業名		近隣文化施設との連携事業		担当課 施設名	文化振興課 (名勝大乗院庭園文化館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2) -①, ③, ④	
	基本施策	2・05	文化振興			
	施策	2・05・1	文化の振興			
実施形態	単発・継続	事業開始年	平成22年12月	実施回数	各施設年1回(写真美術館、書道美術館、奈良市美術館)	
日時	8/2~28杉岡華邨書道美術館出張展示、 12/12~1/20入江泰吉写真美術館出張展示、 1/23~2/21奈良市美術館・ミニ出張展示		会場	当文化館内展示室		
目的	近隣の文化施設の協力により出張展示を行ない当館、当庭園の誘客を促進すると共に各施設の作品を身近に触れて奈良の魅力を感じていただける機会としたい。					
内容	杉岡華邨書道美術館「パネルで見る杉岡華邨が書くハーのうた」8/2~28入場者720人、入江泰吉写真美術館「春日大社」12/12~1/20入場者1400人、奈良市美術館「鉄道のある風景」1/23~2/21入場者2400人いずれも各文化施設の皆様のご協力によって開催できている幸いです。					
事業費(円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	0
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	0
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)			展示コーナー雑記帳を設置している。			
指標		評価 (10点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	8	分野が異なるので入場者数の比較はできないと思いますがいずれも当館を訪れた多くの皆様に奈良の文化に触れて頂いていると思います。			
	参加者満足度	8	来館者には庭園の観賞に留まらず奈良の文化に触れて頂いている。また展示の観賞を目的に来館されている方を見受けます。			
	市民参画・協働の成果はあったか	9	近隣の文化施設のご協力を得て成り立っている事業です。			
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	9	奈良を代表する文化作品に触れる機会を得ている。			
	ターゲットは適切に絞れたか	7	来館者全体を対象としている。			
総合評価(自動計算)		8				
参加者や協働相手からの意見		展示コーナー雑記帳より 杉岡華邨パネル展：素晴らしい仮名ちらしを見せていただき嬉しく思う。先生のお名前をこちらで初めて知りました。 入江泰吉出張展：入江さんの写真に接し美術館と異なる趣のある地で感激です。どの写真も素晴らしいです、お正月に来て落ち着けます。 奈良市美術館ミニ出張展：鉄道はなぜか人の心に入りこみ…懐かしい思い出と共に拝見。奈良機関区の写真素晴らしい。				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	近隣の文化施設の出張展示は其々の美術館の魅力に触れる機会となっていると思ひますし、美術館の皆様にもそのようにご理解頂いて継続できていると考えています。貸し施設でもある展示室は時期的に空いている期間の有効活用ともなっています。			出張展示は各美術館のご理解を得て継続できるように取り組んでいきます。館内の展示室は庭園の観賞の他に来館者に楽しんでいただくコーナーとして、いつも何か展示されているようにしたいと考えて、庭園に関連の資料展と二十四節気書画展も継続して実施します。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		第六回学園前寄席		担当課 施設名	(奈良市西部会館市民ホール)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(1) -③ (2) -⑤
	基本施策	2-05	文化振興課			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成25年		実施回数	1回
日時	平成28年5月28日		会場	奈良市西部会館市民ホール		
目的	学園前地域のお住まいの方、並びに奈良市近隣の皆さまに、本格的な上方落語を手頃なお値段で楽しんで頂き、笑いがもたらす健康増進効果で日頃のストレス発散と、心のうるおいに寄与する。					
内容	今回は奈良市富雄在住の落語家、露の新治が出演。いつもより一席多い番組とした。大いに笑って楽しいひとときを過ごして頂く。					
事業費 (円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	243,000	支出	243,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	51,823	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	239,700	支出	291,523
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				有 回収率73.4% (回収枚数138/入場者数188)		
指標		評価 (10点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	7	リピーターのお客様も少しではあるが増えてきている。目標とする集客(200名程度)にはまだ達していない。			
	参加者満足度	8	アンケート内容を確認すると評判も良く、声も大きく聞きやすかった等のご意見を頂いた。奈良にちなんだ話や、創作落語の評判も良かった。アンケート回収が138名で大変良かったが77名・良かったが38名・普通1名が回答。(アンケート集約顧客満足度 83.3%)			
	市民参画・協働の成果はあったか	1	アンケート集計による、再演の希望が多かった為、市民意見を取り入れた。			
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	7	落語家：露の新治、桂 阿か枝、露の新幸 お囃子：はやしや絹代			
	ターゲットは適切に絞れたか	8	当ホールは圧倒的にシニアの入場者が多く、ターゲットは絞れたと思われる。			
総合評価 (自動計算)		6				
参加者や協働相手からの意見		<ul style="list-style-type: none"> ・露の新治師匠の落語は以前にも聞いたことがあったが、一段と心にしみる話しぶりです。今回来てよかった。 ・新幸氏、阿か枝氏の話もそれぞれ持ち味が出ていて楽しむ事ができた。 ・落語はいつ聞いても楽しいです。少し泣かされたようなところもありました。気持ちの良く泣かされたです。 ・露の新治さんの「井戸の茶碗」、満足しました。はなやかに説得力のあるお話しぶりでした。充実した時間を過ごせました。有難うございました。 ・いつも楽しみにしています。出来ればもっと回数を増やして頂きたいです。 				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	毎年2回の落語会を行っているが、当ホールは圧倒的にシニアの入場者が多く体調管理の影響であろうか、当日の来場者が多く見られた。前売券と当日券の差額を無くした事が、当日券の販売促進に繋がったと思われる。			集客改善策を講じながら続けていく。 しみんだより・情報誌の掲載の強化。近鉄沿線にてポスター継続実施。 奈良っ子・ならリビング・よみっ子・大和路アーカイブなどに掲載予定。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		中野振一郎 with テレマン・アンサンブル		担当課 施設名	(奈良市西部会館市民ホール)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1) -③	
	基本施策	2-05	文化振興課		(2) -⑤	
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成27年	実施回数	1回	
日時	平成28年6月25日		会場	奈良市西部会館市民ホール		
目的	奈良県主催の「ムジークフェストなら」に、昨年に続き文化振興を目的として当事業で参加。 「ムジークフェストなら」の開催趣旨に適合する、音楽芸術の本格的なクラシック演奏者を迎えてのコンサートを実施する。					
内容	関西を代表する室内楽団であるテレマン室内オーケストラの首席メンバーと、チェンバロ演奏者、中野振一郎との協演。室内楽のもつ可能性を最大限に引き出した、「宮廷、そして美との再会」と題したコンサート。					
事業費 (円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	687,000	支出	687,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	84,888	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	597,700	支出	682,588
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)			有 回収率63.7% (回収枚数146/入場者数229)			
指標		評価 (10点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	8	芸術性の高い催事であり参加者が220名を超えたことは大いに評価できる。			
	参加者満足度	8	アンケート回収が146名で大変良かったが96名・良かったが25名・普通2名が回答。 (アンケート集約顧客満足度 82.8%)			
	市民参画・協働の成果はあったか	3	NPO法人ならチャレンジからの依頼があり、奈良県立奈良西養護学校生の社会参加活動を実施した。(内容：配布資料作りと開場時のおもてなし、休憩時のご案内、終演時の現状復帰のお手伝い等を行った。)			
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	7	日本テレマン協会：日本屈指のパロック音楽演奏団体。			
	ターゲットは適切に絞れたか	8	関西が育んだ室内楽を知ったお客様が来館されたので絞れたと考える。			
総合評価 (自動計算)		7				
参加者や協働相手からの意見		<ul style="list-style-type: none"> ・小規模ながら暖かい雰囲気なのかなかのホールであり好印象。音楽も優れており、家庭的雰囲気でも音楽が楽しめた。機会があれば再度来訪したい。 ・テレマン室内オーケストラに加えて中野さんのチェンバロとお話が聞けて楽しませてもらいました。又、去年も来ましたが来年も楽しみにしています。 ・チェンバロを初めて聞きました。とても心にひびく音でした。したしみやすかったです。コンサートをまたお願いしたいです。スクリーンPの音楽会のようなので。聞く者として失礼がありました事を心よりおわびします。 ・中野氏演奏初回でした。超誠実なご一家でしたので、とても楽しみに拝聴いたしました。ご健康とご活躍をお祈り申し上げます。チェンバロもさることながら中野先生の声量のすばらしさに感銘いたしました。次のナラでの舞台楽しみに！！ 				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	学園前在住、中野振一郎さんの演奏会と云う事もあって、本番当日は地元ファンや地域住民の方々が来館され賑わいをもたらし、地域密着型の催事が出来た。 集客については、同月に奈良市の他ホールで「テレマン室内オーケストラを迎えてのソプラノコンサート」が行われており、テレマン室内楽のファンが分散したと考える。			ムジークフェストに参加登録した事で冊子に掲載された事と、早めに宣伝を行った事で昨年度同様の来場者数が確保できた。次年度以降も日本テレマン協会の次年度以降も上質な音楽コンサートをムジークフェスト参加にからめ、コンサートを定番化する意向である。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		栗コーダー&フレンズファミリーコンサート 2016		担当課 施設名	(奈良市西部会館市民ホール)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(1) -③
	基本施策	2-05	文化振興課			(2) -⑤
	施策	2-05-01	文化の振興			(9) -②
実施形態	単発	継続	事業開始年	平成28年	実施回数	1回
日時	平成28年8月7日			会場	奈良市西部会館市民ホール	
目的	学園前ホールで行うファミリー向けのコンサート。大人から子供まで楽しんで頂ける夏休みのプレゼント。					
内容	NHK Eテレ「ピタゴラスイッチ」の音楽でおなじみの栗コーダーカルテット。 今回は共に各国で公演を続けているビューティフルハミングバードと全編に渡って共演。さらにはスペシャルゲストとしてラオス発、世界で活躍する劇団「カオニャオ」が来日。言葉を使わず自然物や生活道具を用いて全身で表現する彼らの親しみやすいパフォーマンスは、子どもから大人まで国境を越えてお楽しみいただけるものである。					
事業費 (円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	765,000	支出	765,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	459,062	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	325,100	支出	784,162
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				有 回収率68.3% (回収枚数93/入場者数136)		
指標			評価 (10点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		5	目標の300名(完売)は達成できなかったが、市外県外からの集客があり、集客と共に奈良市観光への誘引に寄与できた。		
	参加者満足度		9	アンケート回収が93名で大変良かったが78名・良かったが7名・普通1名と回答。 (アンケート集約顧客満足度 91.4%)		
	市民参画・協働の成果はあったか		1	当方で企画運営等を行なった為、市民参画・協働の実績はなかった。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		7	栗コーダーカルテット・ビューティフルハミングバード・カオニャオ(ラオス:劇団)		
	ターゲットは適切に絞れたか		9	大人から子供まで楽しめる企画コンサートとし親子・若者・高齢者まで、年齢による嗜好性を払拭出来た。		
総合評価 (自動計算)			6			
参加者や協働相手からの意見			<ul style="list-style-type: none"> 栗コーダーカルテットさんとビューティフルハミングバードさんとカオニャオさんが全部見終わった時、気持ち良く混ざり合っている幸せになりました。何故か、まっ白いごはんをひとくち食べたみたいな気持ち。 ボーカルの方の声がとてもきれいでした。そしてとてもチャーミングで、めずらしい楽器と音色に触れることもできて楽しい時間を過ごせました。低音と高音、いろいろなハミングバードの音色が織りまざってとても良かったです。どの歌もとても好きな番組でした。その作曲グループだったんですね。 4月からリコー教室に通い始めました。全くはじめてで、低音のとも安定しません。今日の演奏とても楽しく聞かせて頂きました。私も楽しく吹きたいと思います。 			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	終演後のお客様の満足気な表情を見ると、実施して良かったとスタッフ一同、達成感を得た。遠くは豊中市、滋賀県からも来館して頂き、学園前ホールも知って頂き知名度の向上にも貢献できたと感じている。			夏休みの前半という事もあって家族旅行等が重なった事と、未就学児入場不可が来場者数が伸び悩んだ原因と考える。反省点としては、開催時期と広報について見直す必要があると考えている。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		東アジア文化都市 2016 奈良市 サインパンゼ号漂流譚 ～ 海は人をつなぐ母の如し～		担当課 施設名	(奈良市西部会館市民ホール)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1) -③	
	基本施策	2-05	文化振興課		(2) -⑤	
	施策	2-05-01	文化の振興		(9) -④	
実施形態	(単発) 継続		事業開始年	平成28年	実施回数	1回
日時	平成28年9月19日		会場	奈良市西部会館市民ホール		
目的	「東アジア文化都市 2016 奈良市」の参加事業として、歴史上実際に起こった事を次世代に伝えて行く目的で実施する。					
内容	明治33年、日本海で遭難した一隻の韓国船が若狭湾の小さな漁村、福井県小浜市泊の沖に漂着し、村人の懸命な救護活動によって、93人の韓国全員が無事帰郷した。この実話を講演と筑前琵琶演奏で語って頂く。					
事業費 (円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	216,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	216,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	328,617	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	50,000	支出	378,617
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)			有 回収率76.6% (回収枚数79/入場者数103)			
指標		評価 (10点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	4	多層な世代や多くの市民に参加して頂きたく、申込制の無料講演としたが、伸び悩んだ。			
	参加者満足度	9	アンケート回収が79名で大変良かったが48名・良かったが21名・普通2名・良くなかった1名と回答。(アンケート集約顧客満足度 87.3%)			
	市民参画・協働の成果はあったか	8	奈良市文化振興計画に則り、「文化の力で日中韓の緊張を和らげ、平和を構築する。」情報発信をする企画として、学園前アートウィーク (東アジア文化都市 2016 奈良市 市民連携事業) において、奈良市と小浜市の市民レベルによる催事を実施した。			
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	7	地元史実研究の第一人者と、日本伝統芸能継承者のコラボレーション。遭難船の第一発見者の曾孫：大森 和良 (泊の歴史を知る会)、筑前琵琶演奏者：川村 旭芳			
	ターゲットは適切に絞れたか	8	西部公民館と共催で実施している、せいふ市民カレッジ「奈良大学文化講座」の受講者の方々への案内等でターゲットは絞れた。			
総合評価 (自動計算)		7				
参加者や協働相手からの意見		<ul style="list-style-type: none"> ・近年、中国、朝鮮、他に沖縄などに対する敵対心をあおる勢力が目立っていて、同調する人の声が大きく なっていることを心配しています。武力をいくら増強しても本当の安心、平和は遠くなるばかりです。 アジアとの深い交流を続けてきた奈良だからこそ、日本中に広げてゆく力があるのではないかと。 よいお話でした。 ・今回のお話は今まで聞いた事もなかったので大変感動致しました。トルコ軍船救助の話はよく聞き 知って おりますが、どうかこれからもこの様なお話を広めて頂きたいと思います。 国同士の事は難しいですが、民間の交流が広まることを願っています。 ・海の事故を通して、小さな村が韓国との間で、交流が脈々と続いている事を初めて知った。娘が韓国 に 嫁いでいるので、うれしかった。「琵琶」は情景がより一層鮮明に描き出しており、非常に良かった。 ・普通の講演会と思って応募したが、こんなに中身の濃い内容の催し物だと思わなかった。 ・こんな歴史があったとは、子や孫に伝えて行かなければ ・「海は人をつなぐ母の如し」言葉がよい。 ・といったお言葉を頂き、評価と効果は充分にあった。 				
総括	評価年度の状況		改善案・次年度以降の目標			
	<p>アジア各国の人々と広く深くつながり、それぞれの文化を尊重しながら伝統文化と創造を響かせ、アジアの平和構築をめざすという主旨の事業に於いて、歴史の史実であるこの話をその子孫が資料を交え講演し、筑前琵琶と云う伝統楽曲にてこの物語を芸術作品として仕上げたことにより、埋もれかかった史実を披露できた。</p> <p>アンケートを読むと「文化とは芸術のみならず、古より人々の出会いや交流が活かされ、長年紡いで行く事で生まれる。」それを後の世代に伝え、平和に繋げなければならぬと観客は実感したことが解る。</p> <p>奈良と小浜に、姉妹都市の交流もあり、「東アジア文化都市2016奈良市」への参加事業として意義深いものとなったと感じている。</p>		<p>奈良市役所関係の催事については、今後も目的に合った内容を考え積極的に取り組んで行く。</p>			

文化振興計画 事業評価シート

事業名		第七回学園前寄席		担当課 施設名	(奈良市西部会館市民ホール)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(1) -③ (2) -⑤
	基本施策	2-05	文化振興課			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成25年		実施回数	1回
日時	平成28年9月24日		会場	奈良市西部会館市民ホール		
目的	学園前地域のお住まいの方、並びに奈良市近隣の皆さまに、本格的な上方落語を手頃なお値段で楽しんで頂き、笑いがもたらす健康増進効果で日頃のストレス発散と、心のうるおいに寄与する。					
内容	六代目桂文枝(前名 桂三枝)の弟子、桂三ノ助が登場。他、林家笑丸、笑福亭飛梅の二人が出演。古典落語や創作落語をお楽しみ頂く。三味線は、はやしや美紀。学園前地域に賑わいをもたらす。					
事業費 (円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	249,000	支出	249,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	109,398	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	157,500	支出	266,898
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				有 回収率77.3% (回収枚数92/入場者数119)		
指標			評価 (10点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		7	目標とする集客(174名程度)にはまだ達していない。		
	参加者満足度		7	アンケート回収が92で大変良かったが18名・良かったが45名・普通13名と回答。 (アンケート集約顧客満足度 68.4%)		
	市民参画・協働の成果はあったか		1	アンケート集計による、再演の希望が多かった為、市民意見を取り入れた。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		7	落語家：桂 三ノ助、林家笑丸、笑福亭飛梅 お囃子：はやしや絹代		
	ターゲットは適切に絞れたか		9	当ホールは圧倒的にシニアの入場者が多く、ターゲットは絞れたと思われる。		
総合評価 (自動計算)			6			
参加者や協働相手からの意見			<ul style="list-style-type: none"> ・孫を連れてくれば良かったですね。お子様が面白そうに笑っていました。良かったです。有難うございました。 ・年金生活の者にとって安価に寄席を味わえ、楽しい時を過ごせました。今後も来たいと思います。 ・古典落語が面白かったです。 ・初めて参加しました。次回も参加したいと思います。 			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	目標のとする集客数(174名)には届かなかったが、六代目桂 文枝の弟子でもあって、入場者数が119名に達した。			集客改善策を講じながら続けていく。 しみんだより・情報誌の掲載の強化。近鉄沿線にてポスター継続実施。 奈良っ子・ならリビング・よみっ子・大和路アーカイブなどに掲載予定。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		山崎千裕+ROUTE14band		担当課 施設名	(奈良市西部会館市民ホール)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1) -③ (2) -⑤	
	基本施策	2-05	文化振興課			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発	継続	事業開始年	平成28年	実施回数	1回
日時	平成28年10月23日		会場	奈良市西部会館市民ホール		
目的	シニア層はもちろん、若者にもターゲットを絞り、学園前地域に賑わいと感動をお伝えする。					
内容	ジャストランベッター山崎千裕コンサート。ニニ・ロッセでお馴染みの「夜空のトランペット」を独自のアレンジで演奏。 アメリカ、アジアを始め、世界中で活躍する山崎千裕+ROUTE14bandの奈良公演である。 「ミュージックフェストなら」にも2年連続で出演したアーティストであり、各地にファンも多数。心に響くトランペットの演奏を届ける。					
事業費 (円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	840,000	支出	840,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	243,323	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	204,000	支出	447,323
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				有 回収率67.1% (回収枚数47/入場者数70)		
指標			評価 (10点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		4	参加人数280名には達成できなかった。		
	参加者満足度		6	アンケート回収が47名で大変良かったが38名・良かったが6名と回答。 (アンケート集約顧客満足度 93.6%)		
	市民参画・協働の成果はあったか		1	当方と足立区シアター1010プロモート企画運営等を行なった為、市民参画・協働の実績はなかった。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		7	山崎千裕+ROUTE14band、(足立区シアター1010プロモート) 共立グループネットワークの企画によるアーティストの全国ツアー		
	ターゲットは適切に絞れたか		7	シニア層はもちろん、若者にもターゲットを絞った。		
総合評価 (自動計算)			5			
参加者や協働相手からの意見			<ul style="list-style-type: none"> ・元気100%でした 県民テレビでもっと紹介してたくさんの人達に聞いてほしかったです。 ・若い頃、ジャズ、ロック、又ガガネなど夢中になったこと、思い出します。時々このような懐かしく、元気をもらえるコンサート希望します。 ・学園前ホールではこのような催し物はなかったのでよいと思う。 ・また奈良に来て下さい。楽しみに待っています。 ・ぜひ、一年に一度呼んでほしい。 ・久しぶりのトランペットの生演奏楽しかった 			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	出演者の演奏レベルやコンサート進行も非常に上手く、お客様を飽きさせない内容であった。 最初から迫力のある演奏でお客様はビックリされていたが、次第にサウンドに慣れ、楽しんでいる様子が伝わってきた。集客数は目標には達しなかったが、お客様の満足度は高い催し物であった。横浜では学園前ホールと同じ300席が満席になり、同時にお客様の年齢層も65歳位が主であった。			アンケートの結果を読むと、今後も実施を行う価値があると認識している。県内のマスメディア等の番組を活用し広報宣伝を強化し、集客に結び付ける。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		学園前アートフェスタ 学園前ホール：ミニコンサート		担当課 施設名	(奈良市西部会館市民ホール)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1) -①	
	基本施策	2-05	文化振興課		(7) -④	
	施策	2-05-01	文化の振興		(8) -②	
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成27年	実施回数	1回	
日時	平成28年11月5日		会場	奈良市西部会館市民ホール		
目的	「学園前アートフェスタ」は2015年から始まったイベントである。 実行委員会の「地域に住み暮らす人々が積極的に交流を行い、一体となって街を育てる『街育』を推進する」という 設立趣旨の元で行う。					
内容	「学園前アートフェスタ」は、9日間学園前南地区で行われ、アート展示やミニコンサートが開催される。 学園前ホールでは、地域住民や帝塚山学園の生徒達による文化祭形式のコンサートを実施。 演劇、邦楽、合唱団、吹奏楽、セミプロのオルガンコンサートなどを行う。					
事業費 (円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	23,000	支出	23,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	80,530	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	22,600	支出	103,130
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無		
指標		評価 (10点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	6	他の会場と催事日程が重なった事もあり、学園前ホールの入場者数は延べ280名足らずであった。			
	参加者満足度	5	当日の参加者と出演者との交流を見ると満足感が伝わったが、実行委員会主導の為アンケートを採っていないかった。			
	市民参画・協働の成果はあったか	8	学園前アートウィーク(東アジア文化都市2016奈良 市民連携事業) 「地域に住み暮らす人々が積極的に交流を行い、一体となって街を育てる『街育』を推進する」との設立趣旨の元、地域住民や帝塚山学園の生徒達が参加。2015年から学園前アートフェスタとして実施している。			
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	8	企画構成は出演者自らが行き、進行及び舞台技術の専門的な部分は、当館スタッフが助言指導しながら手助けし、参加者主導で行った。			
	ターゲットは適切に絞れたか	7	地域住民の交流という目的で、近隣住民の方々や帝塚山学園の生徒の保護者に絞った。			
総合評価 (自動計算)		7				
参加者や協働相手からの意見		大正琴、合唱団、吹奏楽などで、学園前ホールの舞台上に立てた事で非常に喜んでいる。 出演者の保護者やお知り合いの方々が多数来館されており、当日は学園前地域に話題と賑わいをもたらした。				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	地域住民や帝塚山学園の生徒達による文化祭形式のコンサートを実施することにより、日頃 舞台発表に興味のある方々に、発表機会の場を与えるとともに、指定管理者である弊社のISOの環境目的でもある、「創造空間としての環境」づくりに配慮し、地域住民の芸術性の向上に催事運営・舞台技術の面で、ノウハウを提供できた。			次年度も、指定管理者の立場から地域自治会と事業企画を構築していく。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		和楽器ユニット おとぎ		担当課 施設名	(奈良市西部会館市民ホール)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(1) -③ (2) -⑤
	基本施策	2-05	文化振興課			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成26年	実施回数	1回	
日時	平成28年11月26日		会場	奈良市西部会館市民ホール		
目的	今年、奈良市は「東アジア文化都市」の選定都市であるため、このプロジェクトに合ったプログラムを構成して、奈良県・奈良市のお客様へ、アピールすることを目的とする。					
内容	筑前琵琶・胡弓・箏・尺八などの四人の演奏家によって結成されたユニット、「おとぎ」によるコンサート。優美な音色で様々な情感に訴える和楽器の魅力、現代人にも親しみやすいアレンジで表現する。2014年7月、結成十周年記念コンサートを学園前ホール自主事業にて開催、「組曲 古事記」(作曲：木場大輔/歌詞：川村旭芳)を初演した。今回は、「東アジア文化都市2016奈良市」に合わせて「サインパンゼ号漂流譚～海は人をつなぐ母の如く」を演奏。					
事業費 (円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	720,000	支出	720,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	99,665	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	478,000	支出	577,665
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				有 回収率61% (回収枚数116/入場者190)		
指標			評価 (10点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		7	目標とする集客(285名)には届かなかった。		
	参加者満足度		8	アンケート回収が116名で大変良かったが81名・良かったが19名・普通1名と回答。 (アンケート集約顧客満足度 86.2%)		
	市民参画・協働の成果はあったか		1	当方と和楽器ユニット「おとぎ」と企画運営等を行なった為、市民参画・協働の実績はなかった。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		7	和楽器ユニット おとぎ ※著名ではないが、演奏テクニック、器楽アレンジ、創作性のいずれも超一流である。		
	ターゲットは適切に絞れたか		9	出演者ファン・奈良県大芸術祭に参加した事による市外顧客の誘致と、ポスティングなどの各種広報による、世代、地域を越えた集客。		
総合評価 (自動計算)			6			
参加者や協働相手からの意見			<ul style="list-style-type: none"> ・「海は人をつなぐ母の如し」とても良かったです。語りも、演奏も心に深く浸透しました。 ・古来の楽器を使った新しい曲がとても今風で新鮮で素晴らしいセンスと思う。とても良かったです、簡単な単純な新書きなのにあきさせず、しっかりと聞けました。メロディーも(勿論、朗読も)よかった。子守唄なつかしかった。のびのびとしたいい演奏だった。楽しかった。ありがとう。 ・心いやされるよいコンサートでした。トークもウィットに富んで楽しかったです。 ・以前、日本秘書協会新春例会で木場さんにご演奏いただき、そのご縁で秘書協会のメンバーと来させていただきます。おとぎの皆さんでの演奏を聴かせていただくのははじめてでしたが和楽器の柔らかい優しい音色に癒されました。 			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	平成26年度から3年続けて開催してきたが、日本の古典楽器と現代風のアレンジによる(おとぎ)の楽曲の魅力は、充分来場者に伝わっており、アンケートによる再演希望も年々多く成ってきているが、県外固定ファンの来場者は減少傾向にあり、市内・近隣の固定ファンの来場は確保できたものの、新規来場者は思うように伸びなかった。			同一グループの演奏会になれば、新鮮さに欠く部分を別の付加価値を付けて、再構成するか、別の伝統芸能プログラムを構築して集客向上を目指す。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		桂 吉弥 独演会		担当課 施設名	(奈良市西部会館市民ホール)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(1) -③ (2) -⑤
	基本施策	2-05	文化振興課			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成26年	実施回数	1回	
日時	平成29年1月21日		会場	奈良市西部会館市民ホール		
目的	毎年恒例の新春落語会。テレビでお馴染みの噺家を迎えての本格的な落語会を奈良市民の方々に、大阪まで出向かずに鑑賞できる機会を提供する。					
内容	大手落語プロモーターとの共催で行う恒例の新春落語会である。今回は、ちちんぷいぷいへの出演をはじめ色々なメディアで活躍をしている桂吉弥の本格的な上方落語をお楽しみ頂く。					
事業費 (円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	875,000	支出	875,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	887,780	支出	887,780
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				有 回収率59.1% (回収枚数178/入場者数301)		
指標			評価 (10点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		10	完売を目標とする集客 (301名) を達成。		
	参加者満足度		9	アンケート回収が178名で大変良かったが84名・良かったが69名・普通7名と回答。 (アンケート集約顧客満足度 85.9%)		
	市民参画・協働の成果はあったか		1	当方と米朝事務所と企画運営等を行なった為、市民参画・協働の実績はなかった。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		7	米朝事務所：桂 吉弥 桂しん吉 桂 弥っこ ※著名な落語家の独演会		
	ターゲットは適切に絞れたか		9	当ホールは圧倒的にシニアの入場者が多く、ターゲットは絞れたと思われる。		
総合評価 (自動計算)			7			
参加者や協働相手からの意見			<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい笑いの一時に感謝。吉弥は話芸+表情豊か ・しん吉さんの落語初めてきました。品物の名前を説明される時の早口言葉の様な言い回しお上手で大変心に残りました。 ・機会があれば他の話もききたいと思います。吉弥さんの古典とても面白かったです。又の機会を ・去年のお正月から1年が吉弥さんにとって吉弥の一年びっくりするほど大変な成長でした。重ねておめでとうございます。 ・これからはお体に気を付けてがんばってくださいませ。 ・物凄く良かったです。また吉弥さんをやって下さい。 ・上品でした。やはり「生」は良いですね。三人共やはりプロです。 			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	低料金で気軽に楽しめる学園前寄席とは一線を画し、年一回の著名な落語家をむかえての新春落語会、地元のリポーターにとっても楽しんで頂ける公演となった。			チケットは完売であったが、学園前寄席の様な価格設定のチケット料金で、公演料を自主収支で賄うのは、非常に困難な催しである。大手プロモーターとの共催提携で実現しているが、実質制作費はマイナスであり、今後続けるには、チケット料金の設定が鍵を握る。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		リ・フレッシュコンサートvol.10 にこにこ アンサンブル		担当課 施設名	(奈良市西部会館市民ホール)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(1) -③ (2) -⑤
	基本施策	2-05	文化振興課			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成25年		実施回数	1回
日時	平成29年2月27日		会場	奈良市西部会館市民ホール		
目的	奈良県在住のアーティスト達を発掘し、出演して頂くことを目的としたシリーズである。 当館での出演に留まらず、今後も奈良県内外で活躍できるようにプロデュースを進めて行く。					
内容	「みなさまに楽しい音楽をお届けしたい」というコンセプトをテーマに、リーダー高木真稚恵を中心として結成されたアンサンブルグループによるコンサート。今までにコンサートホールはもちろんの事、小学校や保育園、養護施設などで多彩な演奏活動をしている。今回はトランペット、ピアノ、マリンバ、パーカッションのコラボレーションの演奏をお届けする。					
事業費 (円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	279,000	支出	279,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	149,157	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	175,600	支出	324,757
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				有 回収率75.5% (回収枚数96/入場者数127)		
指標			評価 (10点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		7	目標とする集客(195名)には届かず127名であった。		
	参加者満足度		9	アンケート回収が96名で大変良かったが76名・良かったが8名・普通が2名と回答。 (アンケート集約顧客満足度 87.5%)		
	市民参画・協働の成果はあったか		6	奈良市民のアーティストを起用し実施した。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		7	事業担当者と出演者達による企画・制作事業である。		
	ターゲットは適切に絞れたか		7	ポスティングをはじめ市民だより等、奈良市(学園前地域)を中心に幅広い層に告知した。		
総合評価 (自動計算)			7			
参加者や協働相手からの意見			<ul style="list-style-type: none"> ・生演奏はやはり迫力があり、奏者の手元、顔の表情等が良く見えて、土曜の午後を楽しく過ごさせて頂きました。又、こう言う 催しがあれば、是非聴かせて、観させて頂きたいとおもっております。ありがとうございました。 ・マリンバの力強い演奏とドラムの湧き上がる迫力のある音、トランペットの透き通る音色、ピアノのショパン最高でした。 ・独創的な演奏の組合せが素晴らし、特にマリンバとドラムの協演がユニークで楽しめた。 ・マリンバと打楽器のコラボが老体に若さを吹付けてくれて、気持ち良かった。 ・ハラエティーに奮んだ構成で気軽に楽しませて頂きました。 ・1、2部とも最高に良かった! 			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	トランペット、ピアノ、マリンバ、パーカッションの珍しい構成の演奏を企画し、好評を得た。 目標とする集客には及ばなかったが、初めてコンサートに観客の反応も良く新鮮さがあり、企画内容としては成功した。			自主事業において集客は重要な部分ではあるが、知らない物を知る感動を伝える事に価値を見出す企画として、集客結果を恐れずに継続して行く。 但し、収支改善に向けて広報活動にも力を入れ、集客UPを目指す。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		アーティストパフォーマンス & バリアフリー コンサート		担当課 施設名	(奈良市西部会館市民ホール)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1) -③	
	基本施策	2-05	文化振興課		(2) -⑤	
	施策	2-05-01	文化の振興		(5) -①	
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成25年	実施回数	1回	
日時	平成29年3月18日		会場	奈良市西部会館市民ホール		
目的	芸術活動応援事業「アーティストバンク」に登録して頂いているアーティストの発表の場を創出し、本格的な演奏を一般のお客様に低価格で提供する。 ソーシャル・インクルージョン（社会的包摂）の理念に基づき、様々な障害を抱え芸術文化を享受できない方々に、鑑賞の機会の場を設ける。					
内容	学園前ホールの「アーティストバンク」登録者のうち、2組のアーティストによる春の音楽会。 昨年に引き続き今回も、日頃コンサートを観に来れない障害のある人や大人も子供（未就学児・幼児）も一緒に生音楽に親しんで頂こうという目標を持って試みたコンサートである。1部：ホルン アンサンブル バンピッツ(代表：大田雅美)／2部：岡田 侑子(ピアノ ソロ)					
事業費（円）						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	187,000	支出	187,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	582,587	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	66,000	支出	648,587
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				有 回収率58.9% (回収枚数33/入場者数56)		
指標			評価 (10点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		3	目標とする集客（174名）には届かなかった。		
	参加者満足度		8	アンケート回収が33名で大変良かったが20名・良かったが7名・普通1名と回答。 (アンケート集約顧客満足度 81.8%)		
	市民参画・協働の成果はあったか		8	市民参画としてアーティストバンク登録者がステージに立ち、指定管理者と市民が協力し、社会的包摂活動を実現できた。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		8	アーティストバンク登録者で、演奏テクニックが有り、活動を積極的にを行っている団体・個人をピックアップした。 ホルンアンサンブル バンピッツ（大田雅美他4名）岡田侑子（ピアノ）		
	ターゲットは適切に絞れたか		5	開催趣旨の告知活動を昨年以上に力を注ぎ、鑑賞機会の障害を外す対策を施したが、効果的ではなかった。		
総合評価（自動計算）			6			
参加者や協働相手からの意見			<ul style="list-style-type: none"> 素晴らしいコンサートでした。ホルンだけの曲があんなに色々あることにびっくりさせられました。今後も益々仲良くご活躍下さい。岡田さんの左手だけの音色は素晴らしい！片手だけでは思えない曲の輪と音色は彼女の努力と感性の基づくものだと思います。これからもより多くの人に聴かせてあげて下さい。 演奏者との距離が近く、身近に感じられるコンサートでした。ホルンだけで、きれいで、力強く、静かで、いろいろな面を体感できて良かったです。左手のためのピアノ、こちらも左手だけの演奏とは思えない素晴らしい内容でした。よい時間が過ごせました。又聴きたいです。練習等大変だと思いますが頑張ってください。 とてもアットホームな感じで楽しめました。違った世界観を持つ方々が一緒に楽しめる場がある事はとても良いと思います。 			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	集客人数は昨年と同程度であった。お客様の反応とアンケートからは、非常に喜んで頂けたと感じとれる。やはり時間を掛けて、より多くのターゲットへ情報が届くよう努めていくことが大切であると考えられるため、引き続き実施していきたい事業である。お客様からも、良い催し物なので、是非これからも実施して下さいとの言葉を頂いている。			集客改善策を講じながら、継続していく。 障害者が利用する、車両を止めるスペースが無いため、来場を妨げる一因でもある。 今後の課題である。		